

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・地域医療の精神科分野を担い、良質な医療を提供する。
- ・在宅復帰を促進し、それを支えるための通所機能、在宅医療を強化する。

医療法人向聖台會 當麻病院

地域医療構想における 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

- ・一般病院や関係機関との積極的な連携から精神疾患の早期発見・早期治療を進める。
- ・在宅医療における精神科分野でのサポート、院内通所施設での医療提供。
- ・地域連携に基づき、関係機関における精神科身体合併症患者、認知症患者への精神科分野でのサポート。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

- ・精神科入院患者の地域移行の推進。
- ・新病棟の建設により、療養環境を改善し、急性期治療機能を強化する。
- ・精神科デイケアの新設により、通所機能の強化と訪問看護を強化し、在宅における精神科医療を支える。

令和4年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		<R7年度>	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	(b)増来	(b-a)
高度急性期				0		0
急性期				0		0
重症				0		0
重症				0		0
回復期				0		0
慢性期				0		0
休養中				0		0
(今後再開する予定)				0		0
休養中				0		0
(今後廃止する予定)				0		0
(合計)	0	0	0	0	0	0
精神病床	222	169	222	0	222	0
結核病床				0		0
感染症病床				0		0
介護医療院				0		0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について
 ※以下①~⑨の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい

・手術の実施 いいえ

肺、呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器、男性生殖器・女性生殖器・骨軟部
 対応している・対応していない
 化学療法の実施
 対応している・対応していない
 放射線治療の実施
 対応している・対応していない
 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい

・心筋梗塞等の心血管疾患 (上記「はい」と回答した病院のみ)
 ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している・対応していない
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している・対応していない
 (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
 ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している・対応していない
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している・対応していない
 (上記「対応している」と回答した病院のみ)
 ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している・対応していない
 ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している・対応していない
 ・心臓疾患等への早期リハビリ 対応している・対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能障害、機能障害等)について記入してください。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能障害、機能障害等)について記入してください。

奈良県精神科救急医療システム整備事業に参画する輪番病院として対応する。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能障害、機能障害等)について記入してください。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能障害、機能障害等)について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能障害、機能障害等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている

定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している ・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している ・ 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している ・ していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している ・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい
- ・専門研修の専幹施設であるか？ はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、協力型臨床研修病院として大和高田市立病院、近畿大学奈良病院、市立奈良病院からの初期臨床研修医を受入している。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合の進捗、機能強化等）について記入してください。

発熱外来認定医療機関であるが、現状どおり、奈良県精神科救急医療システム整備事業の当番日のみの対応を継続する。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし
(一部の場合の範囲 () 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
(予定ありの場合 (複数選択)： B 水準 ・ 連携 B 水準 ・ C-1 水準 ・ C-2 水準)
予定あり 予定なし

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域の整形外科中核病院として急性期医療・救急医療の提供を維持してまいります

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

整形外科領域での医療提供

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

奈良県立医科大学附属病院と連携し、転院用の病床を院内に確保しております

令和4年11月作成

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

吉本整形外科・外科病院 地域医療構想における 具体的対応方針

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※1. を精まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	高度急性期 急性期	慢性期 回復期	＜H28年度＞ (a)許可病床数		＜R4年度＞ 許可病床数		最大使用病床数
			57	57	57	57	
	重症 軽症						57
	休養中 (今後再開する予定)						
	休養中 (今後廃止する予定)						
	(合計)		57	57			57

精神病床							0
結核病床							0
感染症病床							0
介護医療院							0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を削りしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？

はい いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、男性生殖器、女性生殖器、骨軟部

・化学療法の実施

対応している 対応していない

・放射線治療の実施

対応している 対応していない

・拠点病院等の指定

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？

はい いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施

対応している 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

対応している 対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施

対応している 対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施

対応している 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施

対応している 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ

対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能障害小、機能障害等)について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ 対応している
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ 対応している
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能障害小、機能障害等)について記入してください。

当院は約60年間、整形外科を中心とした地域に密着した医療を行ってまいりました。今後も引き続き、外傷を中心とした整形外科の領域において、一次・二次救急に対応してまいります

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ 対応している
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 有り(病床数=)
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 対応している
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能障害小、機能障害等)について記入してください。

患者様に対し十分な医療サービスを提供するために理学療法士の拡充を随時行っております。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能障害小、機能障害等)について記入してください。

患者様に対し十分な医療サービスを提供するために訪問理学療法士の拡充を随時行っております。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能障害小、機能障害等)について記入してください。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?

定めている 定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑩ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑩ 医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか? はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか? はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能向上等）について記入してください。

整形外科特化型病院の為、感染を持ち込まない運営を行っております。
 クラスターで病院機能を止めることがないように感染対策をしております。
 地域での感染拡大時には当院の診療領域に於いては断ることなく患者受入れ
 出来る体制を整え運営しております。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
 (一部の場合の範囲 () 例: ○○科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
 予定あり ・ 予定なし
 (予定ありの場合(複数選択): B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

院内調査の結果、時間外・休日労働が年 960 時間を超える医師がいないため
 医師労働時間短縮計画の作成は検討中です。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について地域における慢性期機能の役割を担っていきます。
急性期・回復期との連携をとり、かつ地域の施設・在宅とも連携しながら慢性期の医療必要などの高い患者様を受け入れています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。
地域医療機関・在宅介護支援サービスとの連携を行い、地域の慢性期医療の役割を担っていきます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

地域医療機関との連携をより充実するとともに地域の住民の方々と多角的に連携し予防医療、介護予防を行う。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人弘生会関屋病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		<R7/2025年度>		<b-a>	
	(a)許可病床数	許可病床数	(a)許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	(b)将来	(b-a)
一般病床	高度急性期							
	急性期							
	重症							
	軽症							
療養病床	回復期							
	慢性期		350	350	280			
	休養中 (今後再開する予定)							
	休養中 (今後廃止する予定)							
	(合計)		350	350	280			
精神病床								
結核病床								
感染症病床								
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？

はい

いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器 ・ 消化器 ・ 乳房 ・ 泌尿器、(男性)生殖器 ・ (女性)生殖器 ・ 骨軟部

・化学療法の実施

対応している ・ 対応していない

・放射線治療の実施

対応している ・ 対応していない

・拠点病院等の指定

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？

はい

いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施

対応している ・ 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

対応している ・ 対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

対応している ・ 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施

対応している ・ 対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施

対応している ・ 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施

対応している ・ 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ

対応している ・ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

訪問リハビリを令和4年1月より開始している。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称： ）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑫周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の曜日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場合の範囲 () 例：〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特別水準指定の申請予定
(予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の態勢状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について現在の整形外科の診療・手術を核として、今後は、救急に関する地域の病院群輪番制度に入るべく、循環器内科の心臓疾患エリア、脳神経外科の脳疾患エリアの対応を更に充足していきます。そのために、2024年下旬～2025年上旬の間院を目的に、病院の全面的な新築移転を予定しております。

具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について
※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにし、ご説明ください。
当院の主科である整形外科（奈良香芝脊椎・人工関節センター）の役割を担いつつ次世代の整形外科を見据えての手術室を再構築してまいります。
心臓疾患・脳疾患における診療体制の充足を図ることにより、地域の診療所や在宅患者さんのバックアップ病院としての役割を担って行きます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにし、ご説明ください。
病病連携、病診連携の強化を図るべく、入退院支援部門の体制強化を行っていきます。また、救急医療体制の充足を図り、救急に関する地域の病院群輪番制度の輪番病院への加入を検討し、断らない病院（救急）として地域の患者さんが安心して日中夜間問わず、選んでいただける病院を目指して行きます。

令和4年11月作成

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	高度急性期 急性期 重症 軽症	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減
		許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	
		99	84	99	84	99	99	0
	回復期	99						-99
	慢性期							0
	休養中 (今後再開する予定)							0
	休養中							0
	今後廃止する予定)							0
	(合計)	99	84	99	84	99	99	0
	精神病床							0
	結核病床							0
	感染症病床							0
	介護医療院							0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ (はい) (いいえ)

・手術の実施

肺、呼吸器 (消化器) ・ 乳腺 ・ 泌尿器、(男性)生殖器 ・ (女性)生殖器 ・ 骨軟部

・化学療法の実施 対応している (対応していない)

・放射線治療の実施 対応している (対応していない)

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

同法人である、高井病院との連携により、特に放射線治療の領域を整備してまいります。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ (はい) (いいえ)

(上記「はい」と回答した病院のみ)

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している (対応していない)

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している (対応していない)

(上記「対応していない」と回答した病院のみ)

・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 (対応している) (対応していない)

・心疾患に対する外科手術の実施 (対応している) (対応していない)

(上記「対応している」と回答した病院のみ)

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している (対応していない)

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している (対応していない)

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している (対応していない)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

当院においては、現在、24時間365日の対応に関しては人員体制の問題にて厳しいが、今後は、緊急対応できる体制を構築していく予定です。

また、外科手術に関しては、近隣施設との連携にて対応していきます。

③脳卒中中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

脳疾患治療に、対応できる診療体制の構築をおこなっていき、新築移転後には手術室、検査室を増設し、緊急等にも対応できる体制を目指します。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

救急室を新設し、病院群輪番制の輪番病院へ参加いたします。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。
 当院においては、運動器リハビリだけでなく、同法人の高井病院との人材育成及び人材交流により、脳疾患リハビリ、心臓リハビリ、呼吸器リハビリ、廃用症候群等にも対応可能なリハビリスタッフ育成が出来る体制となっています。
 今後において3大疾病に対応出来、地域の患者様に喜ばれるよう体制を整えてまいります。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
 - ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

現在は、対応できておりません。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか? はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか? はい いいえ
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

現在は、対応できておりませんが、人材を確保、また育成し対応できるよう体制を整えてまいります。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか? 定めている 定めていない

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMA T 指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・E M I S (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 当院において、災害医療を積極的におこなえるだけの人材が不足しており、現状では、今後の対応見込みはありません。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 現状、人材が不足しており、今後も対応できる見込みはありません。

⑬医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 専門研修の施設としての専門エリアの拡充を目指す予定です。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 現在、小児科の標榜をしておらず、対応しておりませんが今後、地域性を鑑み対応できるように体制を整えたいと考えております。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 現在、産婦人科の標榜をしておらず、対応しておりません。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
(重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や対応方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

現在は、人員的な体制不足のため、軽症患者のみの対応となっています。
今後、重症対応可能な病院との連携をおこなっていきます。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の曜日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 取得予定なし
(一部の範囲の範囲(特定の診療科に対して検討中)例:○○科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり 予定なし
(予定ありの場合(複数選択): B水準 連携B水準 C-1水準 C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

取得に向け、準備中です。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 - ・当院は中和医療圏における病床数 241 床の民間病院で、開院以来地域の中核病院として住民の方から信頼される運営を行ってまいりました。病床の内訳は高度急性期 10 床・急性期 136 床・回復期(地域包括ケア) 45 床・慢性期 50 床です。しかしながら、現在のコロナ禍において回復期 45 床をコロナ病床 12 床(33 床病床)へ転換して運用しています。
 - ・当院の最重点施策として、救急搬送受入は緊急手術を含めて、24 時間・365 日断らない病院を目指していますが、最近の病床使用状況は、急性期病床が満床近くになり、救急受入を断らざるを得ないこともある為、コロナ感染終息後には回復期病床を急性期病床へ転換することを検討しています。
 - ・小児医療については、引き続き一般外来、救急搬送受入及び入院加療の充実を図っていきます。
 - ・2022 年 4 月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げました。今後は近隣在宅診療医を含めて、引き続き連携を図っていきます。

- (2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときより明らかにすることが重要です。

 - ・内科系高度急性期疾患(急性心筋梗塞、急性心不全、急性腹症)については、引き続き積極的に受入をしていきたい。
 - ・外科系高度急性期疾患についても、これまで以上に積極的に受入していきたい。特に脳神経外科の救急受入は脳卒中(脳梗塞、脳出血)を含め、引き続き積極的に受入していきたい。
 - ・耳鼻咽喉科は常勤医不在の為、他院へ役割を依頼します。

- (3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

 - ・奈良県の胸痛・冠症候群ネットワーク、葛城地区の二次救急輪番制および中南部地区の小児科病院二次輪番制に参加させていただいており、引き続き当直帯も含めて、救急搬送の受入を出来る体制の維持が必要と考えています。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

香芝生喜病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和 4 年 1 1 月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	
高度急性期	10	10	10	9	0
急性期	91	136	136	129	136
重症					
軽症					-46
回復期		45	45	43	0
慢性期	50	50	50	48	0
休養中 (今後再開する予定)					0
休養中 (今後廃止する予定)					0
(合計)	151	241	241	229	90
精神病床					0
結核病床					0
感染症病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

・手術の実施

・呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器・男性生殖器・女性生殖器・骨軟部
 化学療法の実施 対応している 対応していない
 放射線治療の実施 対応している 対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ・最先端の手術機器を用いて消化器外科領域の手術に幅広く対応しており、特に大腸癌に対しては、十分な経験を積んだ医師による安全・低侵襲かつ正確・高度な腹腔鏡下手術を行っています。加えて、乳腺悪性腫瘍手術等にも対応しています。

また、悪性疾患に対する治療としては、手術以外に化学療法や緩和ケアに対しても対応しています。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

(上記「はい」と回答した病院のみ)

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

(上記「対応していない」と回答した病院のみ)

・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

(上記「対応している」と回答した病院のみ)

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ・常勤の循環器内科医が5名在籍し、最新の血管造影装置を有しており、緊急対応を含めて、質の高い心臓カテーテル検査及び治療を提供しています。
 胸痛・冠症候群ネットワークにも参加させていただいています。
 また、同一法人内の石切生喜病院と連携し、心疾患に対する外科手術にも対応しています。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 日本脳卒中学会の一次脳卒中センターの認定を受けています。
 ・ 常勤の脳神経外科医が2名在籍し、最新の血管撮影装置を有しており、各種開頭手術及びカテーテル治療を行っています。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 常勤の救急担当医3名（内2名は救急科専門医）と他科医師および一部非常勤医師により、24時間365日の救急受入体制を構築しています。
 ・ 葛城地区病院群輪番運営協議会に参加しています。
 ・ 中南部地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・心臓血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士4名が在籍し、早期より集中的にリハビリテーションを行っています。

・ 回復期病床45床（地域包括ケア病床）は、現在コロナ病床12床と休止病床33床として運用しており、コロナ感染終息後については急性期病床へ転換を予定しています。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 香芝市内の在宅療養支援診療所と連携し、往診医から在宅患者の緊急の入院要請に対し、積極的に救急受入を行っています。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

（はいの場合）施設名称：藤井会訪問看護ステーション
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 2022年4月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げしています。
 ・ 藤井会香芝訪問看護ステーションの立上げに向け、より一層、香芝市内の在宅診療を行う開業医との連携を強化していきます。

③ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。
 ・ 人生会議委員会を立上げて活動しており、2021年1月に厚労省のガイドライン等の内容を踏まえた「香芝生喜病院における適切な意思決定支援に関する指針」を定め、患者用冊子「もしものときのために」を作成し、患者さまへの配布により周知活動を行っています。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・小児入院医療管理料の算定 している していない
 - ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
 - ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- ・常勤の小児科医師が6名在籍しており、朝診に加えて、小児アレルギー・ワクチン外来も実施しています。また、入院病床10床を小児専用病床として運用しています。（現在はコロナ対応の為、6床休止中）
 - ・中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
 - ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- ・現在対応しておらず、当面対応予定はありません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- ・2020年8月に香芝市と「災害時における入院に関する協定書」を締結し、災害時には要救護者を優先して受け入れる様になっている等、自院で対応可能な範囲で協力していきます。
 - ・2022年11月のDMAT訓練に参加しました。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- ・現在対応しておらず、当面対応予定ありません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・協力的臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
 - ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
 - ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- ・現在、奈良県立医科大学の協力的臨床研修病院、大阪市立大学医学部付属病院内の臨床研修協力施設となっており、一部研修医の受入を行っています。
 - ・協力的臨床研修病院の申請をしています。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
 - ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
 - ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
 - ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・2021年4月19日付けで、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け、2021年5月24日よりコロナ病床12床を開設し、受入を行っています。ピーク時は12床満床の運用をしてきました。2022年11月1日からは4床運用に変更しています。

- ・その他、「新型コロナウイルス」「発熱外来」「北葛城地区PCR検査センター（2021年9月まで）」として患者の受入を行っています。
- ・加えて、奈良県や香芝市のコロナワクチン集団接種会場への医師派遣、奈良県軽症者宿泊施設への医師派遣を行っています。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ **取得予定** ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場舎の範囲 () 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ **作成予定あり** ・ 作成予定なし
- ・特別水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
- (予定ありの場合 (複数選択)： **B水準** } 連携B水準 ・ **C-1水準** ・ **C-2水準**)

現状と今後の方向は〈限定の遷移状況や課題、今後の対応や対応方針〉について記入してください。

現在労働基準監督署に宿日直許可について相談中。
許可が取れば特定労務管理対象期間の指定申請予定。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

◆自施設の現状

○診療実績

- ・患者数 (令和3年度実績) 外来：546,261人、入院：234,976人
(令和2年度実績) 外来：512,848人、入院：238,630人
(令和元年度実績) 外来：575,087人、入院：306,993人
- ・平均在院日数 (令和3年度実績) 11.21日 (除く精神科：10.11日)
(令和2年度実績) 11.85日 (除く精神科：10.60日)
(令和元年度実績) 12.69日 (除く精神科：11.37日)

○職員数 (令和4年10月1日現在)

- ・医師 826名 (臨床研修医含む)
- ・看護職員 1,149名
- ・医療技術職員 368名
- ・事務職員他 343名

○自施設の特徴

- ・高度急性期医療が中心

○自施設の担う政策医療

県内の5疾病5事業に関して、例えば以下のとおり中心的な役割を果たしている。

- ・がん 都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院
- ・脳卒中 脳卒中センターの設立 (平成29年10月)
- ・急性心筋梗塞 365日24時間緊急カテーテル受入
- ・救急医療 高度救命救急センター (3次救急)、ドクターヘリの運航
- ・災害時の医療 基幹災害拠点病院
- ・周産期の医療 県内唯一の総合周産期母子医療センター 等

◆自施設の課題

- ・高度急性期・急性期医療に特化し、在院日数の短縮とさらなる逆紹介の推進が必要

- ・医療需要の変化 (高齢化に伴う疾病の変化) への対応

- ・県内医療機関との役割分担とネットワーク構築

(紹介、逆紹介の推進によるスムーズな患者移動)

- ・経営改善 (設備投資等のコストが経営を圧迫。効率的な運営体制の確立が必要)

- ・医療従事者の働き方改革

- ・県内唯一の医育機関としての医療人育成

◆地域において今後担うべき役割

- 5疾病5事業を含む、県内のあらゆる医療の高度急性期・急性期を担う

奈良県立医科大学附属病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

○地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

- ・在宅医療支援センターを立ち上げて次世代指導者養成システムを構築
- ・在宅看護に関する看護師特定行為研修の実施により特定看護師を養成
- ・休日・夜間の在宅医療を地域全体で支える仕組みづくりのコーディネート
- ・地域中核病院との連携協定締結による積極的な患者転院の実施

○その他

- ・新専門医制度に対応した人材の育成
- ・地域医療機関との機能分担、連携、人的支援の推進

◆今後持つべき病床機能

- ・高度急性期病床及び急性期病床

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときお知らせください。

奈良県唯一の特定機能病院として、また奈良県における最終デフォインスラインとしての役割を担うべく高度急性期及び急性期に対応していく。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるときお知らせください。

地域の医療機関との紹介・逆紹介の推進

超高齢化の進展に伴う人口構造・疾病構造・医療需要の変化等、本地域における社会ニーズの急激な変化に対応し、健全な経営基盤のもと、患者さんに良質な医療サービスを提供するためには、地域完結型の医療体制を実現する必要がある。

そのためには、地域の医療機関の一層の機能分化と緊密連携が必須と考える。当院は、今後も5疾病事業をはじめとする県内のあらゆる医療について、高度先進医療の提供など、県民の最終デフォインスラインとしての役割を果たしていく。そして、急性期を脱した患者さんの医療を地域の医療機関の皆様に担っていただきたいと考えており、これまで以上に紹介・逆紹介や診療科毎のネットワーク構築を推進し、結果的に患者さんにとっても自宅の近隣の医療機関で受療できることで利便性の向上につながり、WIN-WIN-WINの関係を実現していきたいと考えている。

・具体的には、

1. 紹介患者が当院を初診受診した旨の紹介元への報告の徹底、紹介元以外へ逆紹介する際にも紹介元へ報告を行うなど、丁寧な情報提供に取り組んでいる。
- 当院は紹介患者の診療を基本としており、現在のところ、高い紹介率を維持しているが、紹介状をお持ちの患者さんが、診察の予約なしに来院されるケースも多数ある。

また、当院は特定機能病院として、高度で先進的な医療の提供、また、地域医療計画においては高度・重症急性期患者の診療を役割としており、より多くの方にそういった医療を提供するためにも、スムーズな診療を行える初診予約を推進している。当院では、緊急患者や予約患者を優先的に診察せざるを得ないことから、紹介状をお持ちであっても診察の予約をされずに受診される場合、相応な待ち時間となり、結果的に大変な負担をおかけすることになる。

さらに、予約のない患者さんの診察を行うことにより、予約患者の診察時間の遅れや医師の診療計画への影響など、病院全体の運営や医師の働き方改革にも逆行することにつながる。

初診予約の推進のため、令和元年度からは連携登録医からの紹介患者からの直接予約を可能とし、従来のFAXやオンライン予約システムの活用とあわせ、当院受診の際は必ず事前予約をとっていただくよう各医療機関には地域医療連携室より等を活用して呼びかけを行っている。

当院に課せられた役割を果たし、能力を十分に発揮することができるよう、完全予約制の案頭を目標に、今後も引き続き事前予約制度の推進に取り組んでいく。

2. 急激な高齢化社会の到来をふまえ、地域包括ケアシステムの構築が急務となる中、当院と各中核病院は、互いのメリットを活かし、連携を強化していく必要がある。

また、相互の紹介・逆紹介をスムーズに行うため、各医療機関の特性を生かした機能性のある「診療科別の病病連携ネットワーク構築」に取り組む、医療圏内全体で患者ニーズに応じた質の高い医療の提供を実現していく必要がある。

そのための施策として、各機関の実務者間の情報共有と協議の場を、これまでに以上に積極的に提供していきたいと考えている。

退院や転院の調整においては、当院における治療が完了した後も退院できず、待機患者の受け入れに支障となるケースがある。独居老人や生活困窮者といった社会的問題を抱える患者について、地域の各施設の役割や機能に応じた受入れがスムーズに行われるシステムの構築に向け、県全体で検討する必要がある。

そして、誰もが必要な時に適切な場所で最良の医療が受けられ、治療後はスムーズに安心して生活の場に戻れるよう、保健・医療・福祉・介護の機動的な連携が必要であり、当院はその中心的な役割を果たしていく責任があると考えており、特に在宅医療を担う医療機関を診療面、人員面等様々な面でサポート・支援を行うために、令和4年度に奈良大在宅医療支援センターを立ち上げ、在宅医療を担う人材育成、在宅医療分野における課題の分析、研究を行い、在宅医療の裾野の拡大に取り組んでいく。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)到来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	高度急性期	重症急性期 軽症	460	423	383	423	-37	
	重症	軽症	322	377	343	377	55	
	回復期		67	66	66	66	-1	
	慢性期		0	0	0	0	0	
	休養中 (今後再開する予定)		0	0	0	0	0	
	休養中 (今後廃止する予定)		26	9	9	9	-17	
	(今後廃止する予定)		0	0	0	0	0	
	(合計)		875	875	792	875	0	
精神病床			108	108	99	108	0	
結核病床							0	
感染症病床			9	9	9	9	0	
介護医療院							0	

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択数については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※選択がない場合は適時、行を消やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・手術の実施
 - 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、(男性)生殖器 (女性)生殖器 骨軟部
 - 対応している 対応していない
 - 放射線治療の実施 対応している 対応していない
 - 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。
 当院は、がん診療連携拠点病院の指定を受け、県内のがん診療に関する中核的な役割を担っているが、奈良県のがん患者の受療動向によれば、がん患者の13-15%が県外の医療機関に入院(通院)している状況であり、県内でのがん診療が完結できていない状況である。その為、がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院等に於いては、高度な手術療法・放射線治療・化学療法の実施を図る必要がある。その為には、低侵襲手術の導入や抗がん剤治療、遺伝子パネル検査を用いたゲノム医療等を積極的に進めていき、拠点病院の医師とかりつけ医師との地域連携体制を強化し、切れ目のない医療提供を実践していく。

また、2023年4月にがんゲノム医療拠点病院指定を目指し、体制を整備する。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- (上記「はい」と回答した病院のみ)
 - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない
 - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 - (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
 - ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない
 - ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない
 - (上記「対応している」と回答した病院のみ)
 - ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない
 - ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない
 - ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等)について記入してください。
 当院は奈良県、特に中・南和地域において循環器救急疾患に対する急性期中核病院としての役割を担っている。

対象となる疾患は急性心筋梗塞、うっ血性心不全、急性大動脈解離、急性肺血栓塞、急性心筋炎など岐にわたる。当院ではこれら循環器救急疾患に対して診療所や地域の一般病院などからの紹介、救急隊からの要請に対してCCUへの直通電話を通じて24時間体制で対応し最良の急性期医療が提供できるように努めている。

特に急性心筋梗塞に対しては夜間でも緊急PCI（経皮的冠動脈インターベンション）が行えるようにACS（急性冠症候群）オンコールチームを結成し看護師、放射線技師、臨床工学士との協力のもと患者さんが来院してから速やかにPCIが提供できるようなシステムを院内で整えている。また、奈良県全体においても当院を含む循環器救急指定病院9病院により作成した胸痛搬送ルールにより胸痛患者さんに対して速やかに急性期医療が提供できるようシステムを構築している。当院や各関連病院スタッフの努力により、奈良県の急性心筋梗塞死亡率の全国順位（低い順）は第4位という全国でもトップレベルの水準へ改善している。

今後は、急性心筋梗塞をはじめとした循環器救急疾患に対する救急要請に対して引き続き多くの患者さんを収容できるように努めたいが、そのためにも病床稼働率の改善が必要である。当院での急性期医療が終了後に早期に自宅へ退院できない患者さんをスムーズに転院できるように回復期リハビリテーション病院との連携を構築していきたい。また、循環器救急疾患に対しては退院後に再発を予防するための生活習慣の改善や適切な薬物療法の調整が必要である。このため、退院後のかかりつけ医となる医療機関とのシームレスな地域医療連携システムを作成していきたい。

最後に日本は世界に類をみない超高齢社会を迎えており、奈良県も例外ではない。そのため、循環器救急疾患に対する需要は今後益々増えていくと思われる。したがって循環器疾患に関わる医師の増員が必要であると考える。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
 当院は奈良県中南部地域の脳卒中急性期の拠点病院です。全国的に一次脳卒中センター(PSC)が整備され、奈良県では13施設が認定されています。二次医療圏別では、(1)奈良医療圏4施設、(2)西和医療圏3施設、(3)東和医療圏3施設、(4)中和医療圏2施設、(5)南和医療圏1施設が認定されており、一応の均てん化がなされています。今後は、これらの脳卒中センターが地域の施設とも連携をと

りながら脳卒中診療にあたることになりましたが、高齢化に伴い脳梗塞患者が増え脳卒中の急性期治療数が急増していますので、対応する人員の育成及び人員確保を進めていく必要があります。特に血栓回収療法のできる病院を増やす必要があると考えています。

また、「脳卒中・循環器病対策基本法」の施行に基づき、各県において「循環器病対策推進基本計画」の策定が進められています。奈良県においても脳神経外科・循環器内科・脳神経内科が参加する「奈良県脳卒中・循環器病医療連携会」が設立され、本学からロジックモデルを基にした案を県に提案し、担当部署である医療政策局とともに計画を作成しました。本計画を実行することで、奈良県における脳卒中診療の円滑な連携が行えるようになり、充実した体制構築を目指すことになりました。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
 当院は県内唯一の高度救命救急センターを有し、また救急搬送における病院照会回数を3回以内に抑えるべく、ERを運営しており、2022年度からは24時間365日でERを運用している。県内の重症症例については受け入れのみではなく、ドクターカーやドクターヘリを駆使して現場から救急医療を開始する体制を取っており、ERについては中南部地域の救急搬送の病院照会回数の減少に貢献し、ある一定の成果を達成してきた。今後人口は減少傾向にあるものの、高齢者の増加によって重症患者や搬送先に難渋する症例は引き続き増加することが予想されるため、現状の取り組みを継続していく。一方で、人口減少によって当院を含む大規模病院にかかる負担が大きくなることを考えられる。救急医療においても同様であり、多数の重症症例、特に外傷やER搬送例の増加に対応できる体制整備が求められる。このために救急医療に対応できる人材の育成、重症外傷症例の集約化と、後方医療連携を視野に入れた円滑な病床運用が必須と考える。このため以下の3項目を達成すべき項目として挙げる。

- 1) 県内で活躍する救急科専門医数3人/年の育成
 今年度を含めて令和7年までに15名の救急科専門医を育成する。
- 2) 県内重症外傷症例の集約化
 県内の重症例、特に重度外傷の救命には外傷に精通した医師が24時間対応できる体制が必要となる。このため、県内での重症外傷に特化した機能を旨とする。具体的にはInjury Severity Score 16点以上の外傷症例のうち、頭部、体幹および四肢骨盤への緊急手術を要する症例を全て受け入れる体制を構築する。
- 3) 円滑な病床運営を目的とした地域連携の指標化(転院調整開始から10日以内の

転院)

「断らない救急」を達成すべく日々救急応需に対応しているが、出口問題に難渋している。具体的な数値目標を設定し、円滑な救急医療を目指す。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数= 床) 無し 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。
 現在当院リハビリテーション科においては当院で治療するがん、心血管疾患、脳卒中などすべての領域の急性期疾患に対応し、早期からの(がん予定手術においては術前訓練を含む)リハビリテーション治療を実施している。小児神経難病の摂食嚥下障害、慢性疼痛障害に対する外来診療も新たに開始した。

回復期リハビリテーション治療については県内の回復期リハビリテーション病院と密接に連携し、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションを含め医師(主科主治医、リハビリテーション科医)およびリハビリテーション専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリテーション科看護師、ソーシャルワーカー)間の情報共有を図り円滑な転院と制度運用を支援している。

今後も一層、当院の特定機能病院としての特性を生かした高度、超急性期の病態に特化したリハビリテーション治療体制を充実させ、さらに入退院支援センターとの連携を強化して回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟・療養病棟への転院を促進していく。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。
 当院では現状在宅医療を行っていないが、厚生労働省は「2019年度病床機能報告」においても、地域医療構想の実現に向け医療機関の機能分化・連携が必要であり、在宅医療の整備が喫緊の課題と指摘している。全国で30万の在宅医療を提供する仕組みが必要とのことで、奈良県ではおよそ3000人に在宅医療を提供する仕組みが必要と考えられる。奈良県内でこの数字を達成するには多くの開業医の先

生方に在宅医療を新たに始めてもらう必要がある。その開業医の先生方にとって、何が在宅医療を始められることを妨げるのか、調査のために奈良県医師会においてアンケートが実施された。調査結果(H30年度)において、在宅医療に取り組まない主な理由(回答数計313)1位「時間的制約がきつく体力、気力的に続ける自信がない(51%)」2位「自分の専門以外の疾病に対応する自信がない(17%)」との結果であったので、これらの問題点に対して、在宅診療を開始しやすいように、奈良医大をはじめとする病院群(奈良医大、平成記念病院、高田市立病院、済生会中和病院)で支援していく計画を立てた。そのための医療機関連携を推進するため、2018年より中和在宅診療研究会を上記4病院を主体として立ち上げ、訪問看護師やケアマネージャーや薬剤師などにも参加してもらい、意見交換や勉強会を行ってきた。そして2022年度にそのシステムの管理部門として在宅医療支援センターを奈良医大に解説した。

在宅医療支援センターでは開業医の時間的制約を緩和するために、「休日夜間の支援」、すなわち地域の開業医の代わりに休日夜間などの在宅診療を必要に応じて肩代わりすることを旨とする。また、各臓器別専門科の医師でワーキンググループを作り、「専門外の診療に関する相談窓口」となり、専門外の診療に対して支援していく予定である。

これらを計画的に行っていくことにより、奈良県内における在宅医療の裾野拡大に寄与していきたいと考えている。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。
 当院は、特定機能病院として高度急性期医療を担っているため、当院自ら訪問看護を実施していくことは考えていないが、当院に所属する多くの専門的な知識・技術を持つ看護師(専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師など)の経験や知識を地域に還元し、医療依存度の高い患者に適切な在宅療養環境を提供するため、訪問看護ステーション等との連携を強化し、訪問看護師の介入に対して支援できる体制を構築していく。

また、県内の訪問看護の充実にあたっては、その役割を担う人材の育成が重要と考えており、本学の看護学科と共同して、在宅看護特別教育プログラムおよび訪問看護師・病院看護師人材交流在宅看護教育プログラムを実施している。引き続き、よりレベルの高い訪問看護を担う若手人材を育成するため、プログラムの充実を図っていく。

上記のことを継続実行していくとともに、訪問看護ステーション等との更なる連携強化を図り、入院から在宅(外来通院)へと療養環境が変わっても、患者さんが安心して暮らせるための支援体制の構築を進めていく。

続で来る将来を見据えた奈良県 NICU 構想をもって取り組んでいく。また、小児の健やかな発達発育、障害児医療、虐待防止のために、保健行政の県内の取り組みと医療体制作り（県内小児構想）も積極的に進めていく。当院の小児科の軸である血栓止血領域での医療においては、引き続き専門拠点施設となる研究力と診療力を示し、全国の拠点病院として維持し続けていく。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・分娩の取扱い 対応している していない
- ・ハイリリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部小等）について記入してください。
 当院の周産期医療においては、専攻医の確保と育成、周産期・新生児医学会などサブスペシャリティー専門医の育成、ハイリリスク妊娠の管理、県内分娩取り扱い施設との連携といったことを中心に取り組んでいる。

また、総合周産期母子医療センターでは、超早産の分娩や各種疾患を出生前診断されたハイリリスク妊婦や多胎児、ならびにハイリリスク妊婦から出生した児を中心とする新生児の診療に取り組む、奈良県の周産期医療の中核病院として、奈良県総合医療センターや近畿大学奈良病院と連携して奈良県の周産期医療の向上に取り組んでいる。診療面においては、先天性心疾患の外科的治療を行う小児心臓血管外科医を配置し、小児外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科などにも、新生児・小児を専門とする医師が常勤医として勤務していることで、高度な総合周産期医療を提供できる環境を整えている。

今後については、日本全体の少子高齢化が進む中、出生数も減少が予想され、周産期医療全体の需要は減少すると考えられるが、奈良県全体の母体搬送と新生児搬送については、2011年と2019年を比較しても大きな減少は見られず（2011年母体搬送275件、新生児搬送147件→2019年母体搬送262件、新生児搬送146件）、重症の妊娠母体や新生児の治療成績の向上に伴う重症例の治療成績の向上や不妊治療の影響が想定されることから、将来的には若干の減少はあるが、その減少は小幅に留まると考えられる。その一方で、高度の医療を必要とする妊娠母体や新生児の比率が高くなることが推定され、奈良県全体として周産期医療の集約化の必要性が出ると考える。

これらのことから、周産期医療の維持及び安定的な発展のためには、専攻医の確保及び産科婦人科学会専門医のみならずサブスペシャリティーである周産期・新生児医学会専門医の育成が特に重要であり、これらの専門医が本領域の指導者として県内の周産期医療を支えていかなければならない。

また、ハイリリスク妊娠を適切に管理し、質の高い医療が提供できるように人員の配置し、カンファレンス等の充実を図る必要がある。また、これらを充実していく中で、医師の肉体的、精神的な負担を考慮し、医師が疲弊しない体制を構築し、維持していく。また、県内の他施設からの転院をよりスムーズに受け入れることができれば、また、県内及び県内医療機関との連携体制のさらなる充実を図っていくよう取り組

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部小等）について記入してください。
 当院では、緩和ケアセンター、がん相談支援センターを設置し、主にがんと診断された患者さん、がん治療中の患者さん等に対して、体のこと、心のこと、家族や仕事のことなど患者さんが持つ様々な悩みや心配事について、患者さん・ご家族・医療者の間で、患者さんの意向や大切にしていることを常に話し合っている。また、将来病気が進行し、人生の最期に差し掛かった時、どこでどのように過ごしたいのか。してほしい治療・ケアは何なのか。あるいはしてほしくないものは何なのか。などを、患者さんがご家族、医療者と話し合いを行い、一緒に考え、患者さんにとってより良い終末期を迎えられるように取り組んでいる。

今後については、医療者の間でもACPに対する理解が十分ではない点を踏まえ、院内での講演会や研修会の開催、厚生労働省が開催している研修会（E-FIELD）への参加を通して、広くACPへの理解を深めてもらうために周知・伝達していきたく考えている。

また、院内において多職種連携チームでカンファレンスを実施し、患者さんの意向を大事にしながら、より良い治療方針を考えていくことを重視して取り組んでいく。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部小等）について記入してください。
 奈良県の小児医療における現在の当院の役割としては、各疾患領域分野に対する高度医療、小児救急医療における最終防壁ラインとしての救急医療（特に3次救急）、母子周産期医療における新生児集中管理治療の役割を果たしている。県内の小児医療は県内で完結することを目指し、各疾患領域別において各病院との診療連携ネットワーク体制の構築を当院が中心となり行っている。

今後については、重点的疾患領域である小児がん、心疾患、神経疾患、腎疾患、免疫疾患、内分泌代謝疾患、集中治療をはじめとする高度専門技術を要する疾患領域において県内での拠点病院となり、高水準医療の維持、専門医の育成、各領域のマンパワー充足を図っていく。また、各料との密な連携、そして現在小児医療で問題となっている内科への円滑なトランジションを積極的に取り組んでいく。新生児NICU医療においても、高水準の周産期母子センター機能を十分に維持して継

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病棟の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れられているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病棟用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、今後の対応や取組方針）について記入してください。

当院は第一種および第二種感染症指定医療機関として、指定の感染症患者の診療を行っている。同時に県内唯一の特定機能病院でもあるため、感染が拡大した場合は上記感染症患者の中でも他院で受け入れ困難な重症患者や特殊な患者背景を有する患者の診療を優先して行う。

そのために、感染症診療あるいは感染管理の専門性を有する人材（医師や看護師に限らず薬剤師や検査技師なども含む）を育成していく、育成した人材が院内に限らず、奈良県内の他の医療機関や福祉施設における感染管理の教育を行い、相談に応じ、必要に応じてこれらに施設に派遣し、従事させていくことも考えている。

地域医療構想においては、薬剤耐性菌感染症と抗菌薬適正使用が大きな課題になると考えられる。この課題についても地域の医療機関や福祉施設と連携できる体制を整備し、必要な人材を育成していく。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場合作成状況) 例：○○科以外、など
 - ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
 - ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
- (予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の勤務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

当院では、法人に働き方改革推進委員会、院内に医師の働き方改革プロジェクトを立ち上げ、年次有給休暇の取得推進、医師の勤務実態の把握による課題の抽出及び課題の検討、医師労働時間短縮計画の策定等、医師の働き方改革に取り組んできた。

現状では、特例水準の1,860時間を超える超過勤務を実施している医師も存在すること、加えて、宿日直勤務に該当しないような夜間勤務の状況にある診療科が存在することも判明している。また、医師の労働時間短縮によって、県の医療体制及び附属病院の経営への影響を最小限に抑えること、医師の所得水準の低下を招かないようにすることも、重要な課題と認識している。

これらのことを踏まえ、今後、県と連携しながら、働き方改革推進委員会や医師の働き方改革プロジェクトを中心に諸課題を解決し、策定した医師の労働時間短縮計画に沿って、働き方改革を進めていく予定である。

具体的には、以下の項目から取り組んでいくこととしている。

- ・医師の勤務時間管理の徹底
- ・休日・夜間勤務の勤務体制の見直し
(勤務実態に応じ、交替制勤務の導入や宿日直勤務の見直し、勤務間インターバルの導入等)
- ・医師の健康確保措置の充実
(長時間勤務者に対する面接指導の実施等)
- ・タスクシフトによる医師の負担軽減

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

1. 急性期<重症急性期>(180床)回復期(120床:内訳 回復期リハビリ病床90床・地域包括ケア病床30床)を維持・運営します。
2. 当院の特色である救急医療(2.5次迄を対応する)については、圏域外受入も含め今後も対応します。さらに中和医療圏における重症脳症ネットワークグループと協議し受入日を増やしていくよう調整いたします。
3. 重症部屋の整備は完了し、今後はHCU(High Care Unit)として、現在対応している脳梗塞I-PA療法などの24時間対応を含め、救急医療の更なる強化の為、運用の準備を進めています。しかし、特に医師を中心とした人員の整備等が最重要課題であり、奈良医大などと調整を進めています。機能別の病床数の在り方として病床数は同様ですがさらに内容を充実させた重症急性期180床(高度急性期:10床、重症急性期:170床)での急性期医療を行う「断らない病院」を目指します。
4. 高度急性期及び急性期など他院からの受入を促進するためには、現状の回復期リハビリ病床(90床)並びに地域包括ケア病床(30床)の回復期病床120床の維持は必須となります。但し、奈良医大をはじめ周辺の医療状況の変化により状況が変われば重症急性期30床を地域包括ケアに転換する事も計画の一環として検討中です。従って総病床数は300床を現状維持とします。
5. これまでで消化器内視鏡センターを拡張し機能を強化しましたが、令和4年5月に独立した内視鏡センターをオープンしました。これにより内視鏡治療(上部・下部)の拡大、充実のみならず、地域住民の健康維持のため疾患の早期発見・早期治療を推進して行きます。
6. かかりつけ医制度の推進を図るため、ICTによる地域医療連携ネットワークの構築及び在宅医療の後方支援に貢献できる病院を目指して行きます。
7. アンケート対象奈良県内39病院中で歯科・口腔外科領域の手術において、標準医療機関は11病院のみで、入院、全身麻酔手術を行っている病院となると更に少ない数となります。当院では歯科・口腔外科及び、言語聴覚士(S.T)、看護師等による口腔ケアでの誤嚥性肺炎予防を実施しています。更に院外の在宅患者への対応推進も計画しています。今後、歯科・口腔外科は診察・診療エリアの増築・拡充を

平成記念病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

計画しており入院、手術、外来診療、口腔ケアについて更に充実させていきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにするようご説明ください。

1. 婦人科・小児科・眼科・耳鼻科等は、当院では担っておりません。皮膚科については、大学からの非常勤医師に協力願っています。
2. 当院の循環器内科は非常勤のみの為、急性期冠動脈疾患等への対応が現状出来ません。又、脳梗塞t-P.A療法も脳神経内科及び脳神経外科で対応しています。I.V.Rが必要ケースは他院への依頼が必要で。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

1. 1については、奈良医大を中心に近隣病院にお願いしております。
2. 2についても、奈良医大を中心に近隣病院にお願いしております。
尚、引き続き奈良医大へは、常勤医師の確保に向け協力を依頼しております。
3. 地域医療連携室を介して各病院間の業務連携及び入退院の調整を今後も推進して行きます。

(具体的な連携協定)

- ・奈良県「中南和及び東和医療圏の一部における重症腰痛(腰痛・吐血)救急患者受入ネットワーク」に参加しております。
- ・橿原市救急医療体制における橿原地区二次救急輪番体制病院として参加しております。
- ・奈良医大での高度急性期を脱した患者の受入を積極的に行うため協定を結んでおります。
- ・橿原地区医師会の在宅医療連携病院として後方支援を行っております。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減
	高度急性期 重症 急性期 軽症	180	180	180		180	180	
一般病床	回復期	120	120	120	120	120	0	0
療養病床	慢性期							0
	休養中 (今後再開する予定)							0
	休養中 (今後廃止する予定)							0
	(合計)		300	300	298	300	0	0
精神病床								0
結核病床								0
感染症病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

- ① がん
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・手術の実施 はい いいえ
 - ・化学療法の実施 対応している 対応していない
 - ・放射線治療の実施 対応している 対応していない
 - ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 日本人の最大死因である悪性新生物は、胃・大腸・肝臓など消化器悪性疾患と一括りにすると、消化器がんが最も多くを占め、消化器内科はその窓口として重要な役割を果たしております。当院では施行していない遺伝子パネルによる個別化学療法や放射線治療などの末期悪性疾患治療への対応も重要ですが、早期発見はさらに重要で、消化器悪性疾患は早期診断による根治治療が可能であり、検診などの充実が望まれております。当院では、2022年5月、新たに健診・内視鏡センターを開設し、さらなる健診・検診の拡大、病診連携を図ります。
 悪性新生物の中で最も多い肺癌について、奈良県のDPCコードにおける当院の肺癌患者数は天理よろづ相談所病院、奈良医大、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院と肩を並べ常に県内上位5病院に入っております。しかし、県の推奨する「面倒見のいい病院」を実践し、奈良医大や天理よろづ病院などと連携し入院の必要な重症患者は主に当院で積極的に受け入れ、化学療法などを施行しているため、肺癌患者の平均在院日数が長くなり、今後の検討課題となっております。

- ② 心筋梗塞等の心血管疾患
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - （上記「はい」と回答した病院のみ） 対応している 対応していない
 - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない
 - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 - （上記「対応していない」と回答した病院のみ） 対応している 対応していない
 - ・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない
 - ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない
 - （上記「対応している」と回答した病院のみ） 対応している 対応していない
 - ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない
 - ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない
 - ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 現在当院の循環器内科は非常勤のみのため、急性冠動脈疾患への対応は困難ですが、心臓カテーテルなどが必要のない心不全などの心疾患に対しては既に対応しております。高齢者に多い心血管疾患について、常に専門医に相談できるように体制をさらに充実させておきます。

- ③ 脳卒中等の脳疾患
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
 - ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応している 対応していない
 - ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
 - ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 - ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
 - ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 - ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
 - ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 奈良医大と連携し、t-PAによる脳血栓溶解療法から早期リハビリ、退院後の在宅リハビリまで、幅広く急性期～慢性期の脳卒中に対して対応しております。

- ④ 救急医療
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
 - ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
 - ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 当院は、救急において社会医療法人の認定を受けており今後も救急医療に重点をおき継続的に良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保に努めております。
 大腿骨骨折手術は年間150-160例前後実施しておりますが、その他外傷や救急疾患に対しても、「断らない病院」を目指します。
- ⑤ リハビリ
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
 - ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
 - ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=90床） 無し
 - ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
 - ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

リハビリを通して入院時より多職種連携のもと情報共有し、病病連携・退院支援・在院日数の短縮を図っております。

引続き早期よりの365日リハビリを提供し、充実した単位提供（リハ実施）を行っております。そして回復期リハビリ病棟や訪問リハビリに向けてのリハビリプログラムを構築すべく調整しております。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

訪問リハビリを通じて、退院後の身体機能の低下予防に努めています。

⑥訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：訪問看護ステーション あおい）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

平成記念病院の基本理念を礎とし、「地域住民の皆様に愛される訪問看護ステーション」として関連施設と連携し総合的に地域に密着したサポートを提供しております。今後は、24時間365日、訪問看護サービスを提供していく方針で調整しております。

⑦ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」、「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）に基づき、本人もしくは家族と、主治医・看護師・関連するスタッフとの繰り返し話し合いの機会を設定しております。特に、在宅看取りを希望され自宅退院される場合は、本人・家族を中心に、在宅主治医、訪問看護師・スタッフ・ケアマネージャーなど関わる全ての職種と退院カンファレンスを開き、話し合いの場を設けています。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次給付体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱いは 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

定期的にBCP防災マニュアルの見直しを行っております。令和4年10月に奈良県防災総合訓練に参加、同年11月はDMAT近畿ブロック訓練に参加しました。今後は当法人グループを含め他施設と合同訓練を予定しており各防災機関との相互協力の円滑化を図ります。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

内科：奈良県立医科大学付属病院の臨床研修協力施設として研修医の受入・教育を行っており、医学生の受入も行っております。さらに、消化器・消化器内視鏡・肝臓学会の各教育指導認定施設となっており、常勤の後期研修医を含めた若手医師の

研修・教育に関しても十分な役割を果たし、当院での研修による各学会認定専門医育成の一助を担っております。

整形外科：奈良県立医科大学付属病院と連携し医学生や研修医を受入、指導にあたり、研修施設、日本整形外科学会研修施設、日本手の外科学会認定教育研修施設となっております。さらに日本整形外科学会研修施設、日本手の外科学会認定教育研修施設となっております。若手医師の研修・教育をおこなっています。

消化器乳癌外科：日本外科学会外科専門医制度関連施設を取得し、若手医師の研修・教育を行っています。臨床研修指導医講習に参加し、今後臨床研修医受入に対応予定です。

脳神経内科：日本神経学会教育施設、日本脳卒中学会認定研修教育施設、日本認知症学会教育施設であり、若手医師の研修・教育を行っています。

脳神経外科：日本脳神経外科学会専門医訓練施設であり、若手医師の研修・教育を行っています。

歯科口腔外科：日本口腔外科学会認定研修施設、日本顎顔面インプラント学会准研修施設であり、若手歯科医師の研修・教育を行っています。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ (重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、情報開示等）について記入してください。

重点医療機関としての役割を今後担ってまいります。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 - 取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
 - (一部の場合の範囲 (例: ○○科以外、など))
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 - 作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
 - (予定ありの場合 (複数選択): B水準 (連携B水準) C-1水準 C-2水準)
 - 予定あり 予定なし

現状と今後の方向性（現在の勤務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

令和4年中の宿日直許可に向け医師の宿日直の現状調査と申請資料を作成中です。また社会保険労務士と相談の上、管轄労働基準監督署と協議調整中です。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は現在、回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する回復期リハビリテーション病院として、「家庭復帰」「社会復帰」をチーム医療で支援しております。

出来るだけ早期から、集中的なリハビリテーションを取組むため、地域の急性期病院との連携を強化しております。今年度はより重症度の高い患者の早期受け入れに注力し重症者比率は63%(6ヵ月実績)を超えています。

また、リハビリロボットを多数導入し、リハビリ栄養に着目した取り組みを行うなどリハビリテーションの効果を高める努力を続けております。

加えて、退院後のリハビリテーションに積極的に取り組むため、「外来リハビリテーション」「訪問リハビリテーション」に積極的に取り組んでおります。

当院は今後も引き続き、当地域において、「回復期機能」の役割を担っていきます。

なお、急性期病院からの患者の受入だけでなく、地域の診療所、介護施設との連携を強化し、地域住民の軽症急性期の患者の受入、在宅復帰に積極的に取組むため、令和3年1月より病棟内に地域包括ケア病床を開設し運用を開始いたしました。徐々に地域に浸透してきております。今後はさら在宅医療に目を向け、地域包括ケアシステムにおける役割を充実させる方針です。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができず明らかになるようご説明ください。

当院は、高度急性期、急性期病院から急性期を経過した患者の早期受入を行い、地域における「回復期機能」の役割を果たします(高度急性期、急性期機能は担いません)。

また、地域包括ケアシステム機能を促進するため、在宅医療分野を充実し、軽症急性期患者の受入れ、在宅復帰を担う「回復期機能」の役割を果たします。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにするようにご説明ください。

地域内の高度急性期病院(奈良県立医科大学付属病院)、重症急性期病院(平成記念病院他)、専門特化型急性期病院(吉本整形外科・外科病院他)との連携を更に強化します。中和医療圏に隣接した東和医療圏、南和医療圏の重症急性期病院(奈良長総合医療センター、天理よろづ相談所病院等)との連携を強化し、急性期を経過した患者の早期受入、在宅復帰機能を発揮します。

また、近隣で在宅医療に取り組んでいる診療所(うねびクリニック、武田内科医院等)との連携を強化し、急変患者の受入など在宅医療のバックアップ機能を強化します。

近隣の介護施設との連携を強化し、入所者急変時の受入、施設への早期退院など、地域包括ケアシステムの機能がより発揮される役割を担っていく方針です。

加えて、在宅復帰が難しい患者も少なくないことから療養病床をお持ちの近隣医療機関との連携強化も図り、患者の状態に合わせて後方支援を強化する方針です。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

平成まほろば病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		最大使用病床数
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
重症					
軽症					
回復期			116	116	107
慢性期					
休養中 (今後再開する予定)					
休養中 (今後廃止する予定)					
(合計)			116	116	107

精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能器小、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

・手術の実施

・化学療法の実施

・放射線治療の実施

・拠点病院等の指定

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能器小、機能廃止等)について記入してください。

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

(上記「はい」と回答した病院のみ)

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している . 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している . 対応していない

(上記「対応していない」と回答した病院のみ)

・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している . 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している . 対応していない

(上記「対応している」と回答した病院のみ)

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している . 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している . 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している . 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能器小、機能廃止等)について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は、理学療法士48名、作業療法士21名、言語聴覚士10名、合計79名体制により、早期かつ集中的なリハビリに取り組んでおります。来年度には10名程度の増員を予定しております。

リハビリロボットを多数取り入れ先進的なリハビリを実施するとともに、住環境評価など家庭復帰に向け、きめ細かくお手伝いをさせていただいております。

また、退院後のADL維持のため、外来リハビリ、訪問リハビリ（4名体制）の体制を整えており、今後外来・訪問部門の拡充を図る予定です。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、訪問リハビリは4名体制ですが、今後増員を予定しております。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションあおい）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する閉頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

急性期病院からできるだけ早期に脳血管疾患患者の転院を受入れ、早期かつ集中的なリハビリテーションを実施いたします。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病棟の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心臓血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=106床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能転移等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場の場合の範囲 () 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
(予定ありの場合(複数選択)： B 水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について・地域における精神疾患（統合失調症・うつ病等の気分障害等）や認知症患者に対しての医療を担う。

万葉クリニック
地域医療構想における
具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について
※地域において貴院が担わない又は弱小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。
・総合診療科病院と連携し、身体疾患の治療を一般医療で受けている患者の精神疾患・認知症患者の治療を担う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。
特になし

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度)		H28年度からの増減	
	高度急性期 急性期 重症 軽症	回復期 慢性期	療養中 (今後再開する予定) 休養中 (今後廃止する予定)	合計	0	0	0	0
精神病床				240	240	240	0	0
結核病床							0	0
感染症病床							0	0
介護医療院							0	0
合計				240	240	240	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい
手術の実施	いいえ
肺、呼吸器	対応している
消化器	対応している
泌尿器	対応している
男性生殖器	対応している
女性生殖器	対応している
骨軟部	対応している
化学療法の実施	対応している
放射線治療の実施	対応している
拠点病院等の指定	対応している
がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	対応している
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	特になし

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい
（上記「はい」と回答した病院のみ）	いいえ
・24時間心臓カテーター検査及び治療の24時間365日実施	対応している
・緊急心臓カテーター検査及び治療の24時間365日実施	対応している
（上記「対応していない」と回答した病院のみ）	対応していない
・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施	対応していない
・心疾患に対する外科手術の実施	対応している
（上記「対応している」と回答した病院のみ）	対応している
・冠動脈バイパス手術の実施	対応している
・急性大動脈解離の手術の実施	対応している
・心血管疾患等への早期リハビリ	対応している
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	特になし

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床)
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- (はいの場合 施設名称: 訪問看護ステーション光)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。
特になし

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
特になし

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
特になし

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
 - ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
 - ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
 - ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
特になし

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
特になし

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
特になし

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

特になし

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場合の範囲 () 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
(予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

特になし

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるかによりご説明ください。
高度急性期・急性期・回復期は、担わない。
主に、慢性期機能を担います。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。
病院間の連携協定はございません。
急性期治療を終えた患者の慢性期医療への移行がスムーズに行えるように病院間の連携体制の強化に努めております。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

榎原リハビリテーション病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	高度急性期 急性期 軽症	重症 軽症	許可	最大	許可	最大	増減	増減
回復期							0	0
慢性期 （今後再開する予 見あり）	205		205		205		0	0
（今後廃止する予 見あり）							0	0
(合計)			205		205		0	0
精神病床							0	0
結核病床							0	0
感染症病床							0	0
介護医療院							0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい

・手術の実施

・麻、呼吸器、消化器、泌尿器、乳房、生殖器（男性生殖器、女性生殖器、骨軟部）

・化学療法の実施 対応している ・対応していない

・放射線治療の実施 対応している ・対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している ・対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している ・対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している

・対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対する t-PA による脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝ 床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称： _____)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病棟の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病棟用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場合作成状況) 例：○○科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
- (予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 - ・橿原市を中心とした、地域の中核病院として地域医療を担う。
 - ・救急告示病院であり、橿原市の二次救急輪番病院として救急医療を担う。

具体的には

内科

急性心筋梗塞・経皮的カテーテル心筋焼灼術に特化し24時間365日体制を
目指す。

整形外科

膝関節・股関節の疾患を中心に、骨粗鬆症治療の推進、足関節・外傷骨折手術の
現行以上の充実を目指す。

以上のような診療内容の特性により、内科、整形外科の急性期医療を担う地域の
中核病院を目指す。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において病院が担わない又は弱小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をかきり明らさないようにご説明ください。

近隣には平成記念病院・平尾病院・自院の各病院で、専門とする診療科が異なり、各病院間で患者さんの紹介を円滑に実行している。よって、有効な役割分担が行われていると考えており、縮小するべき役割などについては見当たらない。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をかきり明らさないようにご説明ください。

- ・心臓血管装置を2024年までにもう一機購入し、心臓血管センターを設置する。
 - ・地域医療機関からの紹介が多い、人工関節センターを強化すると共に、橿原市以外の周辺地域への一層の周知徹底を行う。
 - ・人工透析センターの地域医療機関への一層の周知を図る。
- 以上のような機能の充実を踏まえ、自院のみならず、近隣各病院特性をより強化することで広範囲にわたる救急患者の受け入れ体制の細分化の推進を図るべきだと考える。

医療法人橿原友誼会

大和橿原病院

地域医療構想における 具体的対応方針

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
高度急性期						0
急性期	101	93	101	93	101	0
軽症	48	32	48	32	48	0
回復期						0
慢性期						0
体療中 (今後再開する予定)						0
体療中 (今後廃止する予定)						0
(合計)	149	125	149	125	149	0
精神病床						0
結核病床						0
感染症病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器、(男性)生殖器・(女性)生殖器・骨軟部

・化学療法の実施 対応している 対応していない

・放射線治療の実施 対応している 対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

・心臓血管装置を2024年までにもう一機購入し、心臓血管センターを設置する。

・急性心筋梗塞・経皮的カテーテル心筋焼灼術に特化し24時間365日体制を目指す。

・心血管疾患等への早期リハビリを行える体制を整備していく。

③脳卒中中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

・救急医療の充実

・整形外科の緊急手術対応などをより進めていく

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

(はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションひのか)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
 - ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
 - ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
 - ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携強化や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 - 取得済み ・ 一部取得済み ・ **取得予定** ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（例：〇〇科以外、など））
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 - 作成済み ・ **作成予定あり** ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
 - （予定ありの場合（複数選択）： **B水準** ・ **連携B水準** ・ **C-1水準** ・ **C-2水準**）

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

現在、当院では泌尿器科を中心に内科、外科等の診療を行っております。外科系におきましては、手術対象患者様を中心に診療しており、内科系に関しましては、市中肺炎や地域包括病床を利用した高齢者の医療が中心となっております。

今後、人口減少・高齢化が着実に進む中で、医療ニーズの変化を見据えつつ、質の高い効率的な医療提供体制を維持していくため、当院と致しましては、今まで以上に得意分野の泌尿器科領域の診療を続けながら、高齢者特有の泌尿器科領域の疾患に対しても、益々力を入れていきたいと考えております。また、内科、外科領域においても、高齢者が増える事で今以上に軽症急性期として幅広く対応も行ってまいります。一方で、地域の超急性期病院等からの転院患者様や介護施設からの紹介患者様も今まで以上に受け取る様に努めたいと考えております。

更に、地域の開業医の先生方との関係性も今まで以上に信頼関係を築き、地域の先生方の後方支援を今後も積極的にさせて頂くつもりです。

その様な中でも当院の特色で1番インパクトのある泌尿器科領域の治療に関しましては、橿原市や中和医療圏だけでなく、奈良県全域からの患者を受け入れていく事が出来る体制を今後も継続して行きたいと考えております。

当院では急性期医療を今後行う予定にしておりますが診療科によっては、手術等を対応する『重症急性期』と肺炎やその他の感染症等を対応する『軽症急性期』を担う様な取り組みを行っていきたいと考えております。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割・機能ができるとは必ずしも明らかになるようご説明ください。

橿原市の人口は、2021年10月現在120,165人で、高齢化率は28.8%となっております。当院を中心に半径3km以内には、200~300床規模の急性期病院が2病院あり、大学病院も直ぐ横にある様な立地でございます。現在、橿原地区にある平成記念病院・大和橿原病院そして当院では、それぞれ得意とする診療科も異なり、各病院間での患者紹介も円滑に行われています。つまり診療科の住み分けが出来ており、お互いの得意分野を活かす関係性が出来ておりますので、今後その様な関係性の維持を行っていきたいと考えております。

また、橿原、高取、明日香地区の二次輪番体制においても、3病院並びに行政(橿原市)が定期的に連絡会議を通じて協力関係にあり、今後この関係を活かし地域医療の一翼を担う意向であります。当院の特に強みである泌尿器科領域の診療に関しましては、奈良県全域を診療圏と定め、システムを構築することで、奈良県における泌尿器科領域の診療に貢献できると考えております。

一方で、超急性期医療からは脱したが、未だ退院出来ない中程度の医療度の有る患者様を大学病院等から受けて行くのも、当院の地域医療での役割分担の1つと考えております。

平尾病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

(3)(2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

当直医師に泌尿器科の医師が出来るだけ多くの日数に入っていただける様に非常勤医師の確保に努めています。しかし残念ながら365日と至らず、現在も穴を埋められるべく努力をおこなっております。そこで、泌尿器科医師が当直で無い日は、出来るだけ泌尿器科教員に対応するため、夜間は開業医の先生方の診察終了となる時間帯迄、当院の医師の待機を行っております。

大学病院を始めその他の急性期病院からの、中程度の医療度が有る患者様の速やかな転院が可能となる様に各医療機関の地域連携の推進が可能な交換が可能となる様に努めております。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		最大使用病床数	
	高度急性期	急性期 重症 軽症	47	52	47	52
回復期						
慢性期			22			
休養中 (今後再開する予定)						
休養中 (今後廃止する予定)						
(合計)			121	99	99	76
精神病床						
結核病床						
感染症病床						
介護医療院				22	22	
					99	-22

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

③ 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能脱止等）について記入してください。
 ※選取数については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ (はい) いいえ
- 手術の実施 (はい) いいえ
- 化学療法の実施 (はい) いいえ
- 放射線治療の実施 (はい) いいえ
- 拠点病院等の指定 (はい) いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能脱止等）について記入してください。
 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
 がんの診療につきましては、手術対応が出来るがんに対しては、積極的治療を行っていきま。化学療法等の治療に関しても、他医療機関との連携で泌尿器科、内科、外科の診療科で受けられる治療に関しては、今後も受けて行くつもりです。
 新に化学療法を専門で受ける《ケモチーム》を院内で発足させております。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ (はい) いいえ
- （上記「はい」と回答した病院のみ） (はい) いいえ
- 24時間心血管疾患の急性期医療の実施 (はい) いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 (はい) いいえ
- （上記「対応していない」と回答した病院のみ） (はい) いいえ
- 緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的運動脈ステント留置術の実施 (はい) いいえ
- 心疾患に対する外科手術の実施 (はい) いいえ
- （上記「対応している」と回答した病院のみ） (はい) いいえ
- 冠動脈バイパス手術の実施 (はい) いいえ
- 急性大動脈解離の手術の実施 (はい) いいえ
- 心血管疾患等への早期リハビリ (はい) いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能脱止等）について記入してください。
 超急性期の心臓カテーテル治療や手術等は当院では対応しておりませんので、なるべく医療機関に紹介をさせていただきます。

③ 脳卒中等の脳疾患

- 当該領域について対応しているか？ (はい) いいえ
- 脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 (はい) いいえ
- 脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 (はい) いいえ
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 (はい) いいえ
- くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 (はい) いいえ
- くも膜下出血に対するコイル塞栓術 (はい) いいえ
- 脳出血に対する開頭血腫除去術 (はい) いいえ
- 脳血管疾患等への早期リハビリ (はい) いいえ
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 (はい) いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能脱止等）について記入してください。
 脳外科領域の手術や検査に関しては対応しておりますので、なるべく医療機関に紹介をさせていただきます。脳梗塞に関しては対応させて頂いております。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ (はい) いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ (はい) いいえ
- 大腿骨骨折への対応 (はい) いいえ
- 病院群輪番制への参加 (はい) いいえ
- 小児科病院二次輪番体制への参加 (はい) いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能脱止等）について記入してください。
 橿原地区の二次救急医療輪番病院群に参加しておりますので、そこで対応させていただきます。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ (はい) いいえ
- 心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） (はい) いいえ
- 脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） (はい) いいえ
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 (はい) いいえ
- 訪問リハビリの実施 (はい) いいえ
- 通所リハビリの実施 (はい) いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在当院で行っている形態のリハビリ（呼吸器・運動器・脳血管）については、継続して行くつもりです。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・在宅療養支援病棟の届出の有無 無し 有り
 - ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 無し 有り
 - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 施設基準における『在宅療養支援病院』や『在宅療養後方支援病院』にはなっておりませんが、当院通院中の患者様の訪問診療は、一部対応させて頂いております。更に、地域の開業医の先生方のバックアップが出来る様に今後も後方支援を担っていく積りです。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在、訪問看護についてはノープランです。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 当院では、既にACPを取り入れた運用を行っており、今後も継続して行く様に考えております。今後も柔軟な対応が出来る様に、院内の研修などを定期的に行いたいと考えております。

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在、小児救急についてはノープランです。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在、周産期医療についてはノープランです。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
現在、災害医療についてはノープランです。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
現在、へき地医療についてはノープランです。

⑫医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
今後は、考慮したいと考えております。

⑬新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
現在、発熱外来やコロナ患者を受け入れる重点医療機関として運営させて頂いております。今後も、地域の安全が確保されるまでは継続するつもりです。

⑭医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 - 取得済み 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（輪番日以外の日を取得予定）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり 予定なし
- （予定ありの場合（複数選択）： B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準）

現状と今後の方向性（現状の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。
医師の働く環境を見直す様に努めております。今後は医師と意見交換等を行い、より良い環境が提供できる様に努めていきたいと考えております。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

【1】消化器疾患、消化器癌の早期診断を担う病院

消化器内視鏡専門医3名により、上部消化管内視鏡検査を年間約1500件、下部消化管内視鏡検査を年間約2000件、腹部超音波検査を年間約1500件施行している。令和4年1月～9月の間に胃癌16例、大腸癌35例、食道癌2例、肺癌2例を当院にて診断している。紹介元は県内全体の医院・病院からの紹介、2次検診目的の検診機関からの紹介受診が多い。また診断後は奈良県立医科大学附属病院、済生会中和病院、天理よろづ相談所病院を中心に、県内の拠点病院へ積極的な紹介を行なっている。

【2】肛門疾患診療の拠点病院

令和3年度の肛門疾患外来延べ患者数は15,700件、初診肛門疾患外来患者数は2,480件であった。また令和3年度の肛門疾患手術に関しては約580件であり、県内の医療機関より多数の紹介を受けている。また近年では他府県からの受診も増加している。

【3】炎症性腸疾患診療の拠点病院

当院における炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の患者数は200人以上と近年特に増加している(県内で100例以上の炎症性腸疾患患者数がある病院・医院は5医療機関)。

内視鏡検査を中心とした早期診断と生物学的製剤を含めた積極的な治療を行なっている。手術症例は奈良医大附属病院消化器・総合外科と綿密な病々連携を行なっている。

【4】直腸肛門機能障害における拠点病院

排便機能障害を含めた、直腸肛門機能障害に対する積極的な診断と治療を行なっている。特にバイオフィードバック療法を含めた肛門機能訓練を行っている医療機関は県内唯一であり、県内はもとより他府県からの受診も多い。

【5】糖尿病・内分泌科

糖尿病学会専門医、内分泌科専門医による積極的な診断と治療を行なっている。

以上より当院が今後地域において担う役割、機能に関しては、「消化器疾患の早期診断と高次医療機関との綿密な連携を行える病院」「肛門疾患診療・炎症性腸疾患・直腸肛門機能障害の拠点病院」と考えている。

医療法人一路会

錦織病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるか、明らかになるようご説明ください。

- ・診療時間内の急性の直腸肛門疾患や消化管出血に関しては、現在可能な限り対応している。
- ・しかし当院は常勤医が4人のみの小規模病院であるため、夜間救急等には行えない。また緊急輸血等にも困難であり、緊急時は上層医療機関との連携が欠かせないと考える。
- ・当院は医師会との連携も強く、近隣の医院からの紹介が多い。肛門疾患や直腸肛門機能障害・炎症性腸疾患に関しては概ね当院で完結出来るが、消化器科をふくめた悪性疾患に関しては診断後に上層医療機関へ大多数を紹介している。
- ・手術を含めた急性期の癌治療後の患者のフォローアップや寛解状態の炎症性腸疾患等は奈良医大附属病院等からの紹介も多く、急性期病院の負担軽減になるよう努めている。
- ・肛門疾患や直腸肛門機能障害症例は、県内の病院やクリニックをはじめ、県外からや奈良医大附属病院や天理よろづ相談所病院からの紹介も多く、疾患による機能分擔ができていけると考える。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

- ・手術や高度医療後の安定期の患者や炎症性腸疾患で寛解状態の患者は、3次医療機関からの逆紹介が増えることでより高度医療機関の負担が軽減すると考える。
- ・奈良医大附属病院の消化器・総合外科、消化器内科とは日々患者の紹介・逆紹介も多く、潤滑な病々連携ができています。
- ・済生会中和病院の乳癌術後患者はバスを用いた外来連携を行っている。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数科になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	＜H28年度＞ (a)許可病床数		＜R4年度＞ 許可病床数	最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	高度急性期 重症 急性期 重症	回復期 慢性期 休養中 (今後再開する予定) 休養中 (今後廃止する予定)	30		
					0
					0
			30	21	0
					0
					0
					0
					0
					0
			30	21	0
			30		
精神病床					0
結核病床					0
感染症病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は題時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・手術の実施 対応していない
- ・化学療法の実施 対応していない
- ・放射線治療の実施 対応していない
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・がん領域に関しては、診断と早期大腸癌の内視鏡的治療のみ。
- ・手術に関しては、消化器領域の早期大腸癌の内視鏡的治療のみ。
- ・これまで通りであり変更はない。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- （上記「はい」と回答した病院のみ）
- ・24時間心血管疾患の急性期医療 対応している
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している
- （上記「対応していない」と回答した病院のみ）
- ・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施 対応していない
- （上記「対応している」と回答した病院のみ）
- ・冠動脈バイパス手術の実施 対応していない
- ・急性大動脈解離の手術の実施 対応していない
- ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・対応の予定はない。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・当該領域に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クランプ手術 対応している
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している
- ・参加していない 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・対応の予定はない。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・対応の予定はない。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・対応の予定はない。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
 - 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 在宅療養支援病棟の届出の有無
無し
 - 在宅療養後方支援病棟の届出の有無
無し
 - 訪問リハビリの実施（再掲）
対応していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？
いいえ
- （はいの場合 施設名称：)
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？
定めていない

今後策定予定

- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 今後策定予定

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 小児入院医療管理料の算定
していない
 - 新生児特定集中治療室管理料の算定
していない
 - 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）
参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 分娩の取扱
対応していない
 - ハイリスク分娩管理加算の算定
していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 災害拠点病院の指定を受けているか？
いいえ
 - DMA T 指定病院の指定を受けているか？
いいえ
 - EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加
参加している
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 医師会を通じて県内の災害医療に貢献していく。

⑫へき地医療

- 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - へき地医療拠点病院の指定を受けているか？
いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- 当該領域について対応しているか？
いいえ
 - 基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？
いいえ
 - 協力型臨床研修病院の指定を受けているか？
いいえ
 - 臨床研修協力施設であるか？
いいえ
 - 専門研修の基幹施設であるか？
いいえ
 - 専門研修の連携施設であるか？
いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- 対応の予定はない。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ いいえ
(重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

・発熱外来認定医療機関は持続するが、病院の規模から入院治療は難しい。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の曜日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得済み ・ 取得予定なし
- (一部の場合の範囲 (検討中) 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり ・ 予定なし
- (予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について精神科単科病院として多様な疾患・病態に対応できる体制をもって精神科医療に臨んでおりますが、拠点機能病院である奈良県立医科大学付属病院に隣接する立地を活かし連携強化に努めると共に、引続き精神科における救急輪番病院として緊急入院への対応や、一次・二次救急病院として幅広い精神科医療を提供できるように役割を担っていきたいと考えています。

また、当院が標榜する医療圏における認知症患者増によるニーズの高まりを鑑み、認知症治療病棟の設置に向けて病床再編を予定、地域と連携した患者受入をすべく強化を図って参ります。

併せて内科やリハビリ体制の強化に努めることで更なる充実した医療の提供を図りたいと考えています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能がござり明らかになるようご説明ください。

地域における精神科医療の担い手として地域医療機関や公的機関・福祉施設等との連携を更に強化し、措置入院・保護入院患者等の精神科急性期患者の積極的な受入に努めます。

また、将来的な地域における認知症治療患者の増加に対応すべく病床を再編して、認知症治療患者の受け皿となるべく体制を整えて参ります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をござり明らかなるようにご説明ください。

現状は未定です。

飛鳥病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		<R7(2025年度)>	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	(a)許可病床数	最大使用病床数	(b)将来	(b-a)
高度急性期						
急性期						
重症						
軽症						
回復期						
慢性期						
休養中						
(今後再開する予定)						
休養中						
(今後廃止する予定)						
(合計)	0	0	0	0	0	0
精神病床	388	367	367	263		-21
結核病床						
感染症病床						
介護医療院						

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい いいえ
 ・手術の実施
 肺、呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器、(男性)生殖器・(女性)生殖器・骨軟部
 ・化学療法の実施 対応している・対応していない
 ・放射線治療の実施 対応している・対応していない
 ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 対応予定無し

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい いいえ
 (上記「はい」と回答した病院のみ)
 ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している・対応していない
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している・対応していない
 (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
 ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している・対応していない
 ・心疾患に対する外科手術の実施 (上記「対応している」と回答した病院のみ) 対応している・対応していない
 ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している・対応していない
 ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している・対応していない
 ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している・対応していない
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 対応予定無し

③ 脳卒中等の脳疾患

・当該領域について対応しているか? はい いいえ
 ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している・対応していない
 ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している・対応していない
 ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している・対応していない
 ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している・対応していない
 ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している・対応していない
 ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している・対応していない
 ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している・対応していない
 ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している・参加していない
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 対応予定無し

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
精神科輪番病院として引続き対応していく

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
精神科通所施設でデイケア・ショートケア対応しており、引続き対応していく

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
現時点では対応予定無し

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
同一法人内で訪問看護ステーションの開設を検討中

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
対応予定無し

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
対応予定無し

⑩ 同産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
対応予定無し

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
対応予定無し

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
対応予定無し

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
公益社団法人日本精神神経学会精神科専門医制度における研修施設認定を受けています。（認定期間 2019年4月1日～2024年3月31日）

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。
 院内感染防止対策指針・マニュアルに基づき院内感染対策委員会を開催して具体的な対応を協議し、院内感染及びクラスター発生時に対応しています。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 取得済み ・ 一部取得済み ・ **取得予定** ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
 （一部の場合の範囲（ ）例：〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 作成済み ・ 作成予定あり ・ **作成予定なし**
- ・特例水準指定の申請予定
 予定あり ・ **予定なし**
 （予定ありの場合（複数選択）： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。
 取得に向けて現状の勤務状況など調査をしています。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は中和地域の中核病院として、医療圏で地域医療支援病院を目指しております。これまで当院では、長年の医師不足、特に内科医師不足のため、地域の期待や役割を果たせない状態が続いてきましたが、令和4年4月より奈良県立医科大学のご支援をいただき、消化器内科医師4名、7月より腎臓内科医師2名の配置をいただき、翌年4月からは、新たな診療にも取り組む準備をしているところです。このことから当院が本来この地域で担うべき急性期医療や地域の後方支援が可能な体制となつてまいりました。

当院の建替えに向けては、2020年度に当院の将来のあり方検討委員会において、中和地域における緩和ケア病棟の設置や新型コロナウイルス感染症を踏まえ、感染病床の設置を検討してまいりたいと考えております。

また、地域の実情に合わせ、医療機能の分化・連携への取り組みとして、医療従事者の資質の向上の一環として、令和4年4月より毎月1回、地域の医療従事者と交え研修会を実施（計16回実施予定）や、令和4年1月より地域の診療所と連携し、当院において開放病床4床を設置など地域医療機関との連携構築に取り組んでいます。

当院は、医療機能の分化・連携に取り組む目標として、地域医療支援病院を目指しているなかで、「2人主治医制」を推進し、紹介、逆紹介を活発に行っているところです。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

当院は、現在地域包括ケア病床を有する急性期を中心としたケアミックス病院であり、今後も急性期病床（重症急性期および軽症急性期）を担ってまいりたいと考えており、慢性期症例は対象外と考えています。

今後当院の建替えに向けては、①公立病院として周産期医療を引き続き継続、②緩和ケア病床の設置、③内科医師の増員による体制強化、④救急応需の強化、⑤地域医療支援病院を目指す ことを掲げ取り組んでいるところです。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

地域における連携につきましては、葛城地区には、6病院による二次救急輸送体制を構築し、夜間・休日の救急診療を担っております。6病院は、土庫病院、中井記念病院、香芝生喜病院、済生会御所病院、吉本整形外科・外科病院及び当院で構成され、定期的に行政や消防局と協議会や医師部会を開催し、より良い体制が構築

大和高田市立病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。
 2022年2月の市民アンケートを実施した際、24時間365日の救急対応がもっと全世代からの要望が高いなか、当院は頭部外傷の領域において対応困難な状況です。

今後は、病院建替えの際において、脳神経外科の再開(過去に脳神経外科医師の配置があった)を目指すため、奈良県立医科大学のご支援を要望しております。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。
 当院では、救急医療の充実を図っており、年間の救急応需件数が2000件を超えております。また葛城地区二次救急輪番体制、小児科病院二次輪番体制にも積極的に参加しております。今後、常勤医師数の増加により、さらに強化できるものと考えます。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。
 当院には現在、リハビリスタッフ(P/T/O/T/S/T)が14名おり、疾患別リハ、がんリハ、心不全リハ等のリハビリを行っています。今後、益々深刻化する高齢化社会に向けて、また当院に地域包括ケア病棟もあることから、リハビリスタッフの増員を行い、リハビリの強化を図る方針です。
 なお、回復期リハビリ病棟はなく、また訪問リハビリ、通所リハビリは、今後も行わない方針です。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。
 これまで、内科医師不足により、地域の中核病院としての期待になかなか応えられなかった状況でしたが、2022年4月より消化器内科医師4名、7月より腎臓内科医師2名が赴任され、これから地域の診療所等の連携が可能になるなか、病診連携に向け、今後体制を強化したいと考えております。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- (はいの場合 施設名称:大和高田市訪問看護ステーション)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。
 地域の多くの訪問看護ステーションと緊密な連携をとり、在宅患者のサポートを行っています。

また、当市でも、隣接して訪問看護ステーションを設置しており、退院後の患者さんのケア等を積極的に行っており、今後も高齢化社会が進む中、発展させてまいりたいと考えます。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている

定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

公的医療機関として、継続及び充実させ、具体的には、救急医療も積極的にを行い、小児科病院二次輪番体制にも参加しております。今後も引き続き、充実した小児医療を継続する方針です。

・ はい

・ している

・ している

・ 参加している

・ いいえ

・ していない

・ していない

・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

公的医療機関として、周産期医療を継続及び充実させ、中和医療圏の周産期医療の中心として引き続き取り組み。

・ はい

・ 対応している

・ している

・ いいえ

・ 対応していない

・ していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

参加していない

・ はい

・ はい

・ はい

・ 参加している

・ いいえ

・ いいえ

・ いいえ

・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院は、災害拠点病院およびDMAT指定病院の指定を受け、またEMIS（広域災害救急医療情報システム）に参加しております。毎年、防災訓練を行い、また災害被災地へのDMATの派遣も行っております。今後も災害拠点病院としての役割を果たしていきたいと考えております。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

整形外科の医師2名が天川村、上北山村、下北山村の診療所へ外来診療で派遣されています。

・ はい

・ はい

・ いいえ

・ いいえ

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院では、研修体制の充実に伴い、この数年フルマツチを続けております。また、今後地域に必要とされる診療科を充実させます。また、研修内容の充実のため今後も他の医療機関との関係強化を図って参りたいと考えます。他に、常勤医師の不足する他院への派遣や、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う関係施設やワクチン接種にも積極的に協力して参りました。

・ はい

・ はい

・ はい

・ はい

・ はい

・ はい

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
(重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や選抜、機能強化、機能強化等）について記入してください。

今後、建替えに際し、今回の新型コロナウイルス感染症の経験を活かし、基本計画の際に取り込んでいきたいと考えております。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
(一部の場合の範囲 () 例：〇〇科以外、など)
作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ 予定なし
- (予定ありの場合(複数選択)： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の働き方状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

現在労働時間の把握はされており、宿日直許可申請を行う予定である。
働き方改革推進委員会で、タスクシフトを進めてはいるものの、一部に超過勤務医時間が960時間を超えているものがあり、短縮計画を進めてゆくと、医師にとつて働きやすい職場環境を整え、医師の獲得、定着に繋げてゆきたいと考える。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について地域に根ざした急性期病院としての機能と、総合診療医・家庭医をはじめ、地域医療をになう医師養成機能を発揮します。
- 急性期機能としては救急医療、消化管を中心とした内科・外科・内視鏡科医療や、在宅医療院として地域の急病救急を受け入れる機能、慢性期機能としては呼吸器、循環器、糖尿病などの慢性疾患を軸に幅広い患者を受け入れます。
- 当院では入院調整機能を強化し、入院から退院、更に退院後まで患者が地域で住み続けられることを支える地域包括ケアを支える病院をめざします。
- 救急医療については、中和地域での60歳以上の高齢者の救急ニーズの増加に備え、高齢者や地域の在宅患者の急病、救急の受入や、これまでの救急機能として葛城輪番、小児輪番、急性脳症ネットワークなどについて強化していきます。
- 在宅療養支援病院として、地域の開業医や高次医療機関との連携を強化し、当会のみならず地域の在宅患者の急病救急を受け入れます。
- コロナ禍で検診受診率が低下しており、悪性疾患の重症化が問題となっています。また医療にかかるとの機会をさまざまな理由で失っている地域住民に対して健康維持、疾病の早期発見を目的として健診活動を強化します。
- 当院の大腸肛門科は大腸肛門病疾患の早期発見、早期治療に貢献してきました。さらにIBDなどの難病については、奈良県下でも大きな役割を果たしています。この分野において専門性を発揮できるよう、病診連携を強め紹介率を高め、地域の患者さまにこの分野での高度専門医療を提供します。
- 小児科のベッドを確保し、数少ない入院が可能な小児科としての役割を発揮します。また当会には病児保育所もあり、小児科を中心として子育て支援を行います。
- 初期研修医療機関として、初期研修から専門研修を通じて、専門分野だけでなく幅広い知識と臨床対応能力をもつ医師、医療のみならず保健や介護・福祉の分野にも習熟した医師の養成を行っていきます。当院ではこの間フルマツチが続いており、引き続き初期研修医に選ばれる研修医や、奈良県内で後期研修や専門医として働き続けたいと思えるような研修をめざします。
- 葛城地区の医療機関とはお互いの強みを活かしながら病診連携を強めます。地域医療を病院群全体で支えるため、協力協同して医療供給体制の構築をすすめます。
- 生活困窮者の医療を保障するため、無料低額診療を推進します。県下の無料低額診療事業を実施している医療機関との連携をめざします。セーフティーネットを強化して医療を受ける権利を保障し、手遅れ事例を減らします。
- 地域の医療・介護施設、生活支援団体、行政とも連携し「安心して住みつつづけるまちづくりに」に貢献できる医療機関として役割を果たしていきます。

土庫病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにしてください。

当院の強みとしては、高齢者救急や慢性疾患を中心とした総合診療、大腸肛門疾患を中心とした消化器外科部門、子育て支援まで視野に入れた小児医療、訪問看護、在宅診療です。

これらについては、自院での患者受け入れの強化を図ります。
近隣の医療機関には大和高田市立病院、吉本整形外科病院、中井記念病院、御所済生会病院、香芝生養病院があり、それぞれの特徴のある分野について連携しています。

救急医療については、外来の体制を今後変更し、幅広く在宅、高齢者施設、障がい者施設の高齢者、障がい者をはじめとする救急・急病の対応を強化します。また葛城輪番の参画病院とも連携をとりながら、地域の救急ニーズに応えます。

慢性疾患については今後近接診療所などへ管理を移し、当院では救急や急病の患者様の受入、治療を行ったあと近接診療所や地域の開業医さまへつなぐことができるよう病診連携を強化して対応します。

消化器外科部門では地域の開業医さまなどからの紹介患者さんを幅広く受け入れ、必要な処置をおこなったあとは病診連携で開業医さまへ今後の管理を委託します。

小児医療については当院での入院治療を行います。場合によっては対応できない疾患については、病診連携で高次医療機関などにつなげます。

訪問看護や在宅診療分野については、当院が在宅療養支援病院としての機能を発揮し、地域の患者様の受入を行います。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにしてください。

- ・地域の開業医さまと病診連携を行い、急病救急患者の受け入れを行います。
- ・大腸肛門疾患分野では地域の開業医さまからの紹介の患者さまの受入を強化します。
- ・葛城地区の病院群（大和高田市立病院、中井記念病院、御所済生会病院、吉本整形外科病院、香芝生養病院）と葛城輪番をはじめさまざまなチャンネルで各施設の強みを活かし連携を深めます。
- ・中南和地区や隣接する西和、東和地区の高次医療機関と病診連携を深め、患者さまの受入を積極的に進めます。

- ・整形外科は吉本整形外科・御所済生会病院・大和高田市立病院
- ・泌尿器科は大和高田市立病院
- ・外科領域でも、乳腺・産科は大和高田市立病院
- ・肝・胆・膵、小児は奈良医大・大和高田市立病院
- ・今後は麻酔科の市立病院との相互乗り入れを検討していきたい
- ・急性期治療後は、回復期・慢性期医療を担う医療機関との連携。
- ・介護施設、近隣の在宅施設と連携を強化し、入所者急変時の受け入れなど、在宅医療のバックアップ機能の役割を果たします。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		最大使用病床数
	高度急性期	急性期	重症	軽症	
重症		151	151	151	151
軽症					0
回復期		48	48	48	48
慢性期					0
休養中 (今後再開する予定)					0
休養中 (今後廃止する予定)					0
(合計)		199	199	199	199
精神病床					0
結核病床					0
感染症病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複製枚になっても結構です。

- ① がん
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 手術の実施
 - 化学療法の実施
 - 放射線治療の実施
 - 拠点病院等の指定

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 当院は1988年に大腸肛門病疾患の早期発見、治療を目的として大腸肛門病センター開設し、地域住民の大腸肛門病疾患の早期発見、診断、治療を行っております。当院を受診された患者については定期的なフォローアップシステムで患者のフォローを行っております。その強みをさらに活かして、地域連携を通じて患者さまを受け入れ、当院での治療のち、かかりつけ医によるフォローアップをお願いしていくことで、当院の強みをより活かしていきたいと考えております。またがん治療においては化学療法も積極的に取り入れられており、働きながら治療をつづけられる治療体制を構築しております。さらに内科や地域の開業医さまと連携し、在宅でもがん治療が行える体制を構築していきたいと考えております。
 またがん患者さまの疼痛、終末期において、入院のみならず在宅をはじめ住み慣れた生活の場での緩和ケアが提供できるようにします。
 また先端医療としてロボット手術の導入を今後検討します。

- ② 心筋梗塞等の心血管疾患
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - （上記「はい」と回答した病院のみ）
 - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 - （上記「対応していない」と回答した病院のみ）
 - 緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない
 - 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない
 - （上記「対応している」と回答した病院のみ）
 - 冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない
 - 急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない
 - 心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

② 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 心血管疾患については外科的のものや侵襲的検査などについては対応しておりませんが、高齢者の心不全については内科的な治療を行っております。また当院では冠動脈CTの実施により心血管疾患の診断が可能であり、外科的処置が必要な患者さまについては、香芝旭丘病院・高井病院と連携しており専門病院への紹介が可能です。

③ 脳卒中等の脳疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施 対応している 対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- 脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 対応している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 当院では脳卒中における急性期治療には対応しておりますが、急性期対応後の患者様の紹介しかながら脳血管疾患等リハビリテーション科Iを届出しており、急性期対応後の患者様の紹介を受け入れ、リハビリを実施しております。
 2022年10月にMRIの導入を行い、導入すれば脳梗塞などの脳血管障害の診断が容易に行えます。治療困難な場合は、高次医療機関へ行く役割を担います。今後は高次医療機関と連携し治療後の患者のリハビリ目的の転院、退院支援を行います。また当院の地域包括ケア機能を活かし、脳卒中地域連携バスへの参加も検討します。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 当院には救急科専門医師が在籍しており、救急受け入れはもとより専攻医の受入を行っており、地域の救急医療の発展の一翼を担っております。
 中和地域においては、2025年までに高齢者の救急需要が増加します。当院の救急患者さまについても60歳以上の高齢者の救急搬送割合が増加しており、今後の需要拡大に備えます。また土まず社会医療法人の要件について、救急医療での要件として、地域の救急需要に備えます。また土まず社会医療法人の要件を拡大するため、当院内科救急科の慢性患者さまについては近接診療所に移し、腫瘍科の救急受入を拡大するため、当院内科救急科の慢性患者さまについては近接診療所に移し、急性期救急医療の受入を強化します。また地域の開業医さまが管理しておられる在宅患者さまや施設入所さまの急病に迅速に対応できるように、病診連携を強化して救急受け入れを強めます。また葛城輪番や小児輪番についてもこれまでと同様、地域の救急をまもるため引き続き強化して取り組みます。
 大腿骨骨折については、言本整形外科外科病院・大和高田市立病院・御所済生会病院と連携し、患者さまを紹介いたします。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲） 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝ 無し）
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能統合等）について記入してください。
 当院にはリハビリ医が常駐しており、病棟での急性期対応（術後・救急入院後）から生活期の訪問リハビリまで幅広く対応しております。（現在コロナ病棟に転換しているため休止中ですが、11月下旬からは再開予定、過去の実績として）地域包括ケア病棟では虚弱高齢者を中心に、地域・在宅につなげる包括的なリハビリテーションを行っていることもあり、全人的な評価のもと、地域の社会資源と連携しての対応・復帰支援を強みとしております。また身体機能面だけでなく、認知症ケアや摂食嚥下・栄養サポートについての家族への指導なども充実しております。今後これらの取り組みをさらに強めていきます。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない※今

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能統合等）について記入してください。
 当院は在宅医療については在宅療養支援病棟の認可を受けております。当院でも在宅医療を行っておりますが（施設入居者）、今後は近接診療所と外来の機能を調整し、当院の内科救急科と連携しながら在宅の急病受入を重視し在宅医療に取り組みたいと考えております。当院の在宅患者さまのみならず、地域の開業医さまと連携し、開業医さまが管理されている在宅患者様の急病に迅速に対応できるシステムをつくりたいと考えており、在宅療養後方支援病棟と同等の機能をもつ病棟として在宅医療に取り組みます。
 またこれまでのとりくみとして地域の開業医さまや訪問看護ステーションと連携し、がん・非がん患者さまの看取り支援、訪問リハビリ、医療依存度の高い患者さまのレスパイト入院などで在宅療養の支援を行っております。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションそよかぜ、はるかぜ）
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能統合等）について記入してください。
 同法人に2訪問看護ステーションがあります。これらの訪問と連携し、急病、急変時においてはシームレスに外来診療、入院につなげています。また地域の訪問看護ステーションとも連携し、急病教急対応を行っております。

また近接することも診療所と連携し、小児在宅医療についても検討しています。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能統合等）について記入してください。
 当院は併設の老人保健施設や在宅療養支援を行う法人内の関連診療科の後方支援病院、中和地区の在宅療養支援病院、地域高齢者の急病受け入れなどの役割を担っています。
 2018年6月には「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する指針」を定め、訪問診療、外来、入院時に指針に基づいた患者家族への説明と話し合いをすすめる、治療方針に反映させています。今後さらに意思決定プロセスが分かりやすくなるよう整備を進めていく予定です。
 また患者の意思決定を支援するとりくみとして地域での啓蒙活動や職員研修をすすめます。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次給付体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能統合等）について記入してください。
 近接診療所として小児科の診療所（土庫こども診療所）を併設し、入院患者を受け入れております。少子化による患者減が続いており、小児科単科の診療所としての存続は困難になってきています。近い将来、単科としてではなく病院の小児科もしくは近接診療所と合併して小児科の存続を行います。ただし小児救急は担う病院も少なく、今後も小児科に積極的に参加してまいります。また実施体制が整えば、小児の外来リハを積極的にすすめていく予定です。
 また病児保育所を併設しており、働く世代の子育てを応援します。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱いは 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定は している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

この領域においては対応しておりません。また今後対応の予定はありません。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院的指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMA T 指定病院的指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

大和高田市においては、災害拠点病院の大和高田市立病院と連携し、災害時の入院患者を収容する施設となっています。
自発発のほか、ガスコーエーエネレーションシステムを装備しており、災害時に停電しない災害に強い施設となっています。これを活かし災害時には阪神大震災や東日本大震災の災害支援の経験を活かし、積極的に災害医療の一翼を担います。

これまでも大規模災害訓練をDMA T にも実施しています。（直近は2022年11月19日実施）

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院的指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当該領域においては対応しておりません。

対応する予定は今後ありません。
当院は中和地域にあるため、南和地域などからの患者さんの紹介があります。南和医療センターなどと連携し、患者の紹介があれば積極的に対応いたします。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院的指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院的指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医師養成は注力している分野のひとつです。
当院は基幹型臨床研修病院であり、2021年度は6名、2022年度は5名の臨床研修医を受け入れていきます。今年度のマッチングも定数5名に対しフルマッチとなっています。引き続き臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、人権を尊重し、安全・安心の医療・介護を担う医師養成を行います。

また今年3月に研修を修了した研修医は全員が奈良県に残り各科で専門研修を行っています。
専門研修は総合診療と内科で基幹型プログラムを保有しています。

総合診療は病棟と法人内診療所で2つのプログラムがあります。
総合診療・内科・外科・救急科は連携施設でもあり各科の専攻医が複数名研修中です。今後も中小病院の特色を生かした研修プログラム・環境整備を継続します

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院的指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

2020年から発生したコロナ感染症について、2020年5月から疑似症病棟を持っています。また2021年5月からは重点医療機関としてコロナ患者の受入を行っています。

当院にはICDが勤務しています。また感染対応の専任の看護師を医療安全感染管理部に配置しており、今後ICNの養成を行っていきます。

また当院ではコロナ感染症が蔓延した当初から専門の部署を立ち上げコロナ対応をおこなっています。陰圧室などの設備がなかったため、随時的に施設改修を行って対応しています。

今後起こりえる新興感染症については、感染症専用の陰圧室がないことや、病棟のフロア構成などの問題で新興感染症をいち早く担う医療機関にはなりにくいですが、感染対策の方策が一定示されればICDや感染専門看護師が対応できるため当院での患者受入は可能であると考えています。またコロナ禍のように受入医療機関が少なく病床がひっ迫する事態となれば、協力する用意があります。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
取得済み ・ 一部取得済み ・ **取得予定** ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
(一部の場合の範囲 (例：〇〇科以外、など))
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
作成済み ・ 作成予定あり ・ **作成予定なし**
- ・特例水準指定の申請予定
予定あり ・ **予定なし**
(予定ありの場合 (援教選択) : B 水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性 (現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針) について記入してください。

医師の宿日直許可は申請予定です。時間外労働についてはA水準を考えています。
自己研鑽の範囲の検討、時間外のカンファレンスを時間内に実施するなど計画しています。
医師専務作業補助者の採用を計画的に行い、医師の負担軽減を進めています。
医師業務のタスクシフト・タスクシェア実施のため多職種連携向上のプロジェクトを計画しています。医師の健康を守り、地域医療も守ることを念頭に医師の働き方改革への対応をすすめていきます。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 当院は平成14年開院時より一般急性期病院80床として診療を行ってきたが、今
 後の地域の医療ニーズを踏まえ、2018年6月より一般病床12床を地域包括ケア病
 床に転換した。「断らない病院」として、80床の小規模病棟の救急体制として豊原地
 区・葛城地区の2次救急輪番体制に参加しており、月・火・土に地域の内科・外科2
 次救急患者の受け入れを行っている。また消防のE-MATCHや重症癱症のネットワー
 クにも参加している。
 在宅患者や介護施設入所者の急変対応やレスパイト入院も積極的に受け入れてお
 り、近隣の開業医・介護施設・訪問看護ステーション等との連携を強化している。
 当院としては地域の医療ニーズに柔軟に対応できる医療提供を行っていきたいと考
 えている。
 2022年から新型コロナウイルス重点医療機関として3階45床の内7床を新型コロナウイルス受入
 病床、2床を疑似症患者病床、他の病床は休床としており、2階35床で急性期医療
 を行っている。
 新型コロナウイルスの流行が落ち着いてからの対応方針として、急性期病床45
 床、慢性期病床（地域包括ケア病床を主として）35床として運営予定である。「面倒
 見のいい病院」として、2019年5月に地域包括ケア病床を16床に増床し、さらに
 20床に増床を予定している。今後も段階的に増床していき35床を慢性期病床を予
 定していく方針である。
 リハビリテーションの施行、嚥下機能評価（嚥下内視鏡）医師、嚥下訓練看護師
 が在籍して摂食訓練が出来て、近隣の中井歯科医院との連携も行っている。2021年
 6月に居宅事業所まっしろケアプラセンターを、2022年7月に訪問看護ステーション
 まっしろを開設した。2021年8月に訪問診療の届け出を行い、今後訪問診療を
 推進する予定である。今後の計画としては訪問リハビリテーションの運用を予定し
 ている。また消化器疾患や生活習慣病の予防する検診事業も検討している。

医療法人社団憲仁会中井記念病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年12月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において責任が担われない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

当院では消化器疾患の診断から治療（緊急内視鏡を含む）、緊急手術を24時間体制で行っている。また脳疾患・心臓疾患・整形外科手術後患者のリハビリテーション等の入院加療を地域包括ケア病床を中心に行っている。

現在橿原地区・葛城地区の2次救急輪番に参加していることで様々な疾患の患者が運ばれて来る。迅速に初期診断を行い、当院で緊急対応出来ない脳疾患・心臓疾患・整形外科疾患に關しては連携病院へ搬送するようにしている。また精神科病院からの精神疾患・認知症患者の緊急治療症例は積極的に治療し紹介元の医療機関へ逆紹介しているが、紹介以外患者の場合は、治療後の精神科病院・認知症専門病院への転院が困難な状況が続いている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

緊急を要する脳疾患は、橿原地区2次輪番の場合は平成記念病院・奈良県立医科大学附属病院への連携、葛城地区2次輪番の場合は奈良県立医科大学附属病院への連携が決まっている。上記以外の疾患については地域連携室の機能強化を図り、他医療機関との病病連携を強めている。整形外科疾患は吉本整形外科・外科病院、脳疾患は南奈良総合医療センター・奈良県立医科大学附属病院脳外科、精神疾患・認知症は万葉クリニック・秋津鴻池病院、心臓疾患は大和橿原病院・奈良県立医科大学附属病院循環器内科・西和医療センター・天理よろづ相談所病院へ紹介している。今後も地域の医療機関等で調整会議を開催し、密接な関係作りを行っていきたいと考えている。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		(b)将来 (R7/2025年度) (H28年度からの増減)
	(a)許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	最大使用病床数	
一般病床・療養病床	高度急性期				0
	急性期	35	35	35	0
	軽症	45	45	45	-45
	回復期				0
	慢性期				45
	休養中 (今後再開する予定)				0
	休養中 (今後廃止する予定)				0
	(合計)	80	80	80	0
精神病床					0
結核病床					0
感染症病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選取肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※実行が足りない場合は適時、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・手術の実施
 - 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、男性生殖器 女性生殖器 骨軟部
- ・化学療法の実施
 - 対応している 対応していない
- ・放射線治療の実施
 - 対応している 対応していない
- ・拠点病院等の指定
 - がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 消化器がんの手術。特に腹腔鏡下手術を行なっている。

脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施
 - 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施
 - 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応
 - 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クランプ手術
 - 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術
 - 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術
 - 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ
 - 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加
 - 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応
 - 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加
 - 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加
 - 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在橿原地区2次輪番（内科）と葛城地区2次輪番（内科・外科）へ週3日参加している。今後は応需率を高め85%を目指している。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
 - 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
 - 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
 - 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施
 - 対応している 対応していない

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・上記「はい」と回答した病院のみ
 - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施
 - 対応している 対応していない
 - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施
 - 対応している 対応していない
 - ・上記「対応していない」と回答した病院のみ
 - ・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施
 - 対応している 対応していない
 - ・心疾患に対する外科手術の実施
 - 対応している 対応していない
 - ・上記「対応している」と回答した病院のみ
 - ・冠動脈バイパス手術の実施
 - 対応している 対応していない
 - ・急性大動脈解離の手術の実施
 - 対応している 対応していない
 - ・心血管疾患等への早期リハビリ
 - 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

・通所リハビリの実施

対応している

対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
訪問リハビリの開始に向けて院内で検討中。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
訪問診療を届け出するも新型コロナウイルス流行により実行出来ず。流行が収まれば進める。訪問診療を開始するため院内で検討を行っている。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合、施設名称：訪問看護ステーションまっしろ）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 - 取得済み ・ 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし 取得予定なし
 - （一部の場合の範囲（ ）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 - 作成済み ・ 作成済み 作成予定あり 作成予定なし 作成予定なし
 - 持例水準指定の申請予定
 - （予定ありの場合（複数選択）： B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準）
 - 予定あり 予定なし

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

御所市における公的基幹病院として救急対応もしているが、当院の機能（医師数・医療資源）に限られていることや周辺環境から考え、「面倒見のいい病院」としての役割が明確となっている。また、その中でも常勤医師（内科・外科・整形外科・麻酔科）の維持も難しくなる状況にあって、今後地域医療を守るためには、診療科横断的な総合診療機能や地域包括ケアシステムの充実を図るための在宅医療の機能強化等が必要であると考えている。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるかぎり明らかなようご説明ください。

高度急性期医療や常勤医師診療科（内科・外科・整形外科）以外の診療科における入院が伴う症例については、周辺の高度急性期病院内に受け入れをお願いしているが、急性期治療後の当院周辺地域の患者は、積極的に地域包括ケア病棟で受け入れるなど連携を行っている。また、奈良県立医大とは、整形外科領域で連携強化の申し合わせを行い、後方支援として周辺地域外の患者の受け入れも行っている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※御数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかなようにご説明ください。

御所市を中心とした診療圏では、今後の人口減少から患者確保が困難となってくるため、後方支援病院としてより広域に対応する必要があると考えている。そのためにも、特に奈良県立医大とは整形外科以外の診療科、また南和医療圏の南奈良総合医療センター、さらに中和医療圏で新築予定の大和高田市立病院とは、具体的な診療科での連携を図っていききたい。

また、在宅診療では、訪問看護ステーションを活かして地域の診療所との協力関係を今以上に進めていきたいと考えている。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

済生会御所病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		最大使用病床数
	重症	軽症	重症	軽症	
高度急性期	82	49	95	79	
急性期			72	70	
回復期					
慢性期					
休養中 (今後再開する予定)	25				
休養中 (今後廃止する予定)					
(合計)	192	167	167	149	

	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
精神科病床		0
結核科病床		-82
感染症科病床	95	46
介護医療院	72	36
		0
		-25
		0
	167	-25

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・手術の実施
 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、男性生殖器 女性生殖器 骨軟部

・化学療法の実施 対応している 対応していない

・放射線治療の実施 対応している 対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在行っている手術療法・化学療法については、継続して対応していく。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

医師を含めスタッフや機材が充実しておらず、対応困難である。奈良医大や大和豊原病院と連携している現状を維持していきたい。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

脳神経外科は非常勤医師であり、当院での入院対応ができない。脳卒中領域では、脳外科対応を必要としないかかりつけ患者の診療を行っており、今後も継続していく。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ 参加していない
- ・大腿骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

昼間は、従来どおり積極的な受け入れを目指していく。医師数が限られているため、夜間は1科当直であり限定的な対応となるが、地域医療を守っていくために現体制は維持していく。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院科届出の有無 有り(病床数=床) 無し 対応していない
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

訪問看護ステーションでのリハビリ対応はニーズも十分にあり、現状どおり継続していく。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 無し 無し
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

地域の診療所における在宅医療の状況も見ながら、今後はより積極的に取り組むべき分野であると考えている

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ いいえ
- (はいの場合 施設名称:済生会御所病院訪問看護ステーション あまね)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

令和2年3月から開始して順調に患者数も増加している。当院の地域包括ケアシステム充実には欠かすことができない領域であり、地域の診療所との連携も強化して、規模の拡充を目指していく。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

新型コロナウイルスにより、ACPを推進するスタッフの育成が進んでいない現状である。引き続き育成への取組みを行っていく。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医師不足によって小児科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難と考える。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害拠点病院の指定を受けるまでには至らないが、地域の病院として、今後も災害拠点病院との密接な連携を行い、有事には後方支援等、現状の病院機能を活かして対応を行っていく。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

近隣の奈良県総合医療センターが機能を有しているため、当院では取組みを行わない。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医師不足によって産科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難と考える。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医師数が減少している状況にあり、機能を拡充することは困難であるが、現状どおり協力型としては維持していく。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？
(重点医療機関等) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

重点医療機関として新型コロナウイルス対応を行った経験を活かして、新興感染症等の感染拡大時には、病床も確保し積極的に対応していく。

⑪医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 取得済み 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし
(一部の場合作成状況) 例：〇〇科以外、など
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり 予定なし
- (予定ありの場合(複数選択)： B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

医師の宿日直許可は取得しており、時間外労働もA水準で対応予定である。今後は、勤務間インターバル等について、検討が必要と考える。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟の3病棟を有し、「地域の方の自立を支援する」を理念に病床機能報告制度開始以前より当院の役割は回復期機能と考へ「在宅復帰を目指す」のリハビリテーション「認知症医療」に取り組むと共に介護保険サービス事業者との連携にも取り組んで来ました。また当院は精神科及び認知症疾患医療センターを有する病院として、リハビリテーションが必要な状態の方で精神科疾患等を合併されている方も積極的に受け入れ在宅復帰に向けてリハビリを行っています。

地域医療構想に於いても「面倒見のよい病院」として、在宅復帰を目指してのリハビリテーションを多職種で、チーム医療を実践し地域に於ける回復期機能を担う病院として連携して行きたいです。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらぬかぎり明らかになるようご説明ください。

70名超のリハビリスタッフ（PT・OT・ST）が365日リハビリを提供し、認知症ケアチーム（精神科リエゾン）や看護、栄養、ソーシャルワーカー等の多職種で在宅復帰支援を目指し、訪問看護、訪問リハビリ等介護保険事業者、ケアマネージャーと連携を密にし在宅療養を支援しています。

当院は回復期機能を担う病院として、急性期病院と連携し、急性期治療後で継続治療が必要な方や在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方を受け入れ、「面倒見のよい病院」として在宅復帰支援や介護保険サービスとの連携を行っています。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

入退院情報を地域連携室（医療相談課）に集中させ、受入、送り出し状況を常に把握出来る状態にし、問合せにお答えしています。中南和医療圏の各病院連携室に当院診療実績等を発信し連携を依頼すると共にケアマネージャー、介護事業者と勉強会を開き、面倒見のよい病院として療養支援出来る体制を構築しています。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	回復期	慢性期	回復期	慢性期
一般病床			79	79	79	0	0	0
療養病床	重症				42	0	0	0
	軽症							
療養病床	回復期		42	42				
	慢性期							
	休養中 (今後再開する予定)							
療養病床	休養中 (今後廃止する予定)							
	(合計)		121	121	121	0	0	0
精神病床			423	423	423	0	0	0
結核病床						0	0	0
感染症病床						0	0	0
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※現状については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・手術の実施 はい
- ・呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器・(男性)生殖器・(女性)生殖器・骨軟部 対応している
- ・化学療法の実施 対応している
- ・放射線治療の実施 対応している
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、がん診療病院等で診断、治療方針等が決定した後の療養や緩和ケアで連携して行きたい。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・上記「はい」と回答した病院のみ
 - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している
 - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している
 - (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
 - ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している
 - ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している
 - (上記「対応している」と回答した病院のみ)
 - ・冠動脈バイパス手術の実施 対応していない
 - ・急性大動脈解離の手術の実施 対応していない
 - ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後のリハビリテーションの提供で連携して行きたい。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している 対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応している 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後のリハビリテーションの提供で連携して行きたい。また、精神症状を呈した場合精神科病床での受入も検討できます。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

南和周辺地区病院群輪番制に内科領域担当として、奈良県精神科救急医療システムに精神科輪番として参加、現状を維持して行きたい。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=39床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後の患者の受け入れ、在宅復帰を目指し疾患別リハビリテーションを提供すると共に訪問看護、訪問リハビリと連携し在宅療養を支援しています。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

訪問看護、訪問リハビリで地域の先生方に協力し、在宅療養を支援しています。また、在宅療養中に急性増悪した患者さんの受入も行っています。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称: 御所訪問看護ステーション)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

身体領域の訪問看護、訪問リハビリは同一法人内の事業所よりサービスを提供し、精神領域・認知症領域の訪問看護は病院の看護師、作業療法士がサービスを提供する事で鴻池会として在宅療養を支援しています。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

「人生の最終段階における医療・ケアに関する指針」を作成し、新規入院患者に対して「意思確認書」に記入頂いています。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

精神科領域の災害医療について対応しています。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

へき地（下北山村）が実施する介護予防教室等に講師を派遣する事で支援を行っています。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の受入れ等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

精神科領域の協力型臨床研修病院として、奈良県立医科大学、済生会中和病院、奈良県総合医療センター、大和高田市立病院の4つの基幹型臨床研修病院と連携しています。

また、日本精神神経学会、日本リハビリテーション医学会の専門医研修施設として認定を受けています。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

発熱外来認定医療機関として、その他協力医療機関として陽性患者受入2床を確保し、新型コロナウイルス感染症に対応しています。

当院としては、新型コロナウイルス感染症治療後のリハビリや継続療養が必要な患者さんを受け入れる後方的役割を担う事で、新型コロナウイルス感染症受入医療機関と連携して行きたい。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
 - 取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（例：〇〇科以外、など））
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
 - 作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特別水準指定の申請予定
 - 予定あり ・ 予定なし
- （予定ありの場合（複数選択））： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

医師の宿日直許可は既に取得しており医師労働時間もA水準であることから、働き方改革として医師事務作業の充実強化と医師一看護、看護一補助・事務のタスクシフト/シエアを計画・実施していきます。

